

特集 2009年度・2010年度開設博物館情報

(開設博物館一覧表：232 館掲載)

特集 2009年度・2010年度リニューアル博物館情報

(リニューアル博物館一覧表：282 館掲載)

特集：2009 年度・2010 年度開設博物館情報

丹青研究所調べによる、2009年度・2010年度(2009年4月～2011年3月)に開設した全国の博物館数は232館です。ここでは、各館からいただいた資料や当研究所が独自に収集したデータをもとに、2009・2010年度の開設博物館について傾向を示し、都道府県別の開設博物館リストを掲載します。

■ 2009・2010年度開設博物館の傾向

232館の内訳は、2009年度(2009年4月～2010年3月)開設博物館118館、2010年度(2010年4月～2011年3月)開設博物館114館です。この値には、設置場所(敷地)を換えて新たな施設を整備した「移転新築施設」や、建物の老朽化や機能の見直し・拡張などを理由に、旧施設を取り壊して新たに建設した「取り壊し新築施設」が含まれています。また、寄贈・移管・移譲により、設置・運営主体を替え、新たな施設となったものも含まれています。

2009年度開設博物館には、東北学院大学博物館(宮城県)、さいたま市大宮盆栽美術館(埼玉県)、根津美術館(東京都)、練馬区立石神井公園ふるさと文化館(東京都)、山種美術館(東京都)、福井県立子ども歴史文化館、スズキ歴史館(静岡県)、逸翁美術館(大阪府)、甲子園歴史館(兵庫県)、津山洋学資料館(岡山県)、愛媛大学ミュージアム(愛媛県)、筑前町立大刀洗平和記念館(福岡県)、長崎県埋蔵文化財センター・壱岐市立一支国博物館などが見られます(後掲の「2009年度開設博物館一覧表」をご参照ください)。

一方、2010年度開設博物館には、鶴岡市立藤沢周平記念館(山形県)、ホキ美術館(千葉県)、国立極地研究所 南極・北極科学館(東京都)、三菱一号館美術館(東京都)、静岡市美

術館(静岡県)、静岡市立登呂博物館(静岡県)、ヤマザキマザック美術館(愛知県)、リニア・鉄道館(愛知県)、出雲弥生の森博物館(島根県)、松江歴史館(島根県)、徳島県立鳥居龍藏記念博物館、九州歴史資料館(福岡県)などが見られました(後掲の「2010年度開設博物館一覧表」をご参照ください)。

なお、今回の調査では、博物館に類する施設として、常設の展示空間を有して、資料を展示したり、普及啓発活動などを行っている施設も対象に含めています。

2009・2010年度の開設博物館を概観すると、場所を移転して新たな施設を整備したケースや、全面的な建て替えを行い新たな施設を整備したケースがいくつも見られます。また、近年の開設傾向として顕著な、個人記念館、地域特有(固有)の資源を紹介する施設、特定のテーマに基づいた展示施設、企業や大学によって開設された施設、歴史的建造物や遺跡公園・自然公園のガイダンス施設とともに、世界遺産やジオパークの登録・認定、史跡や文化財の指定に関連して整備された施設、空港や野球場に整備された展示施設、研究機関の活動や役割を紹介する施設などが各地に見られます。中には、2010年7月～10月に開催された瀬戸内国際芸術祭(第1回/第2回は2013年に開催)に関連して設けられた2つの美術館も見られるなど、当時の状況を思い起こすことができます。

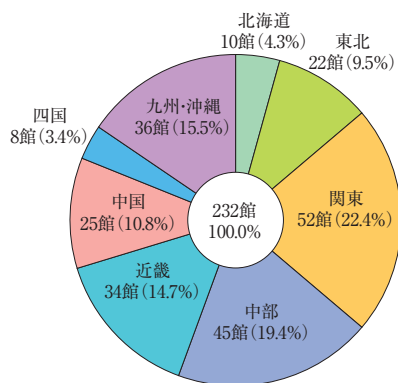
■ 地方別に見た開設傾向

合計232館を開設数の多い地方順に見ると、関東(52館/茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川)、中部(45館/新潟、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、静岡、愛知)、九州・沖縄(36館/福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄)、近畿(34館/三重、滋賀、京都、大阪、

兵庫、奈良、和歌山)、中国(25館/鳥取、島根、岡山、広島、山口)、東北(22館/青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島)、北海道(10館)、四国(8館/徳島、香川、愛媛、高知)となります。前回報告(2007・2008年度開設博物館)の結果と比較すると、九州・沖縄の開設数の伸びが顕著でした。

2009・2010年度の2カ年で10館以上の新たな施設を確認できたのは、東京都(18館)、兵庫県(14館)、北海道(10館)でした。また、千葉県、長野県、大阪府、福岡県、長崎県では9館を数えました。この2カ年では、全国47都道府県のすべてで新たな開設を確認することができました。

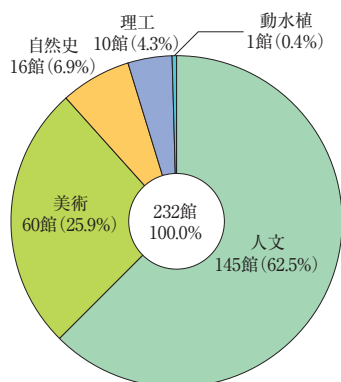
<図-1> 地方別開設博物館数の比率



■ 館種別に見た開設傾向

これまでに行った年度別開設博物館に関する調査結果(結果は、全て本誌バックナンバーにおいて掲載)と同様、歴史博物館や考古博物館、郷土資料館、文学館、総合博物館などを含む「人文」系施設が最も多く、全体の6割以上を占めています。美術館や画家の記念館などを含む「美術」系施設も全体の4分の1以上を示しており、「人文」「美術」系施設で、全体の約9割に達しています。

<図-2> 館種別開設博物館数の比率



■ 設立主体別に見た開設傾向

前回報告(2007・2008年度開設博物館)の結果と異なり、「市・区」による施設(練馬区・新宿区の2施設を含む)が最も多く、全体の約4割を数えます。また、前回報告同様、「法人」による施設も全体の3割以上を占めました。「市・区」「法人」の施設で全体の約7割に達しています。

「法人」の内訳に目を転じると、株式会社(38館)、財団法

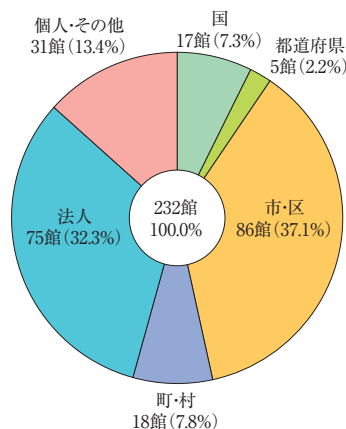
人(13館)、NPO法人(7館)、学校法人(6館)、社団法人(5館)、宗教法人(3館)、社会福祉法人(1館)、合名会社(1館)、合同会社(1館)で構成されています。前回報告同様、「法人」で最も目立つのは企業による施設です。この期間には、株式会社TKC、株式会社ホギメディカル、株式会社アミューズ、三菱地所株式会社、YKK株式会社、株式会社源、株式会社森八、スズキ株式会社、株式会社増進会出版社、東海旅客鉄道株式会社(JR東海)、ヤマザキマザック株式会社、株式会社アシックス、株式会社シマブンコーポレーション、阪神電気鉄道株式会社、高橋酒造株式会社などの施設が新たに開設しました。「財団法人」の施設には、公益財団法人阪急文化財団の2施設、公益財団法人福武財団の2施設なども含まれています。

前回報告より4館多く確認することができた「国」による施設は、国土交通省、環境省、国立大学法人、独立行政法人、大学共同利用機関法人の施設で構成されています。

「個人・その他」ですが、「その他」には市民団体、商工会、協議会、自治会、任意団体による施設や、県と市、市と株式会社が共同で設立した施設などが含まれています。

なお、「市・区」による施設が増え、「町・村」による施設が減っている傾向には、1999年以来、全国各地で取り組まれた「市町村合併」による影響が作用していると考えています。こうした博物館の状況調査を行う上で、「市町村合併」による施設の有り様(果たす機能や役割、事業活動、運営など)の変化(変容)はこれからも十分に留意しなければなりません。

<図-3> 設立主体別開設博物館数の比率



■ 指定管理者について

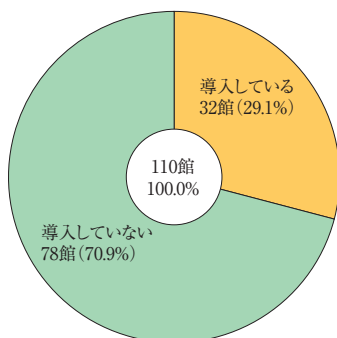
2003年9月に施行された地方自治法の改正を受けて導入された「公立施設における指定管理者制度」について調査した結果、2009・2010年度開設博物館(公立)の約3割の施設で導入していることがわかりました。前回報告より導入状況が少し増えている結果となりました。なお、「導入していない」施設のうち、6館は「指定管理者制度の導入を検討中」と回答しています。

指定管理者には、公益財団法人、一般財団法人、株式会社(共同企業体を含む)をはじめ、公益社団法人、一般社団法人、NPO法人、組合、地元の保存会や協議会、市民団体

が見られます。前回報告時に比べて、NPO 法人による指定管理が増えています。また、財団法人、株式会社、NPO 法人による共同事業体による指定管理のケースも見られました。

2013 年 10 月、地方独立行政法人の対象業務の範囲に「博物館、美術館、植物園、動物園又は水族館」の設置及び管理を追加する趣旨の地方独立行政法人法施行令の改正が実現しましたので、今後、各地の博物館の設置・運営に新たな動きが生じるものと考えています。

<図－4>指定管理者制度の導入状況



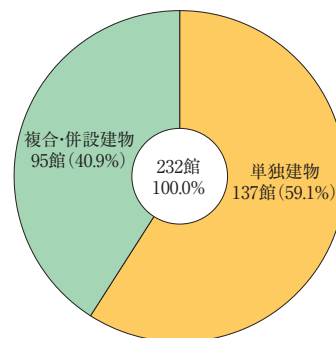
■ 施設の形態について

博物館を単独の建物として設置しているか、それとも建物内に博物館を複合・併設する形態で設置しているかについて調査した結果、「単独の建物である」館は全体の約 6 割となりました。一方、「他施設との複合・併設である」館は前回報告同様、全体の 4 割強を示しています。

「複合・併設」の形態（回答）に目を転じると、「他の博物館との複合・併設」が 3 館（博物館と美術館の組み合わせ、府立博物館内に市立の郷土資料館を併設など）、「博物館以外の社会教育施設・文化施設との複合・併設」が 19 館（図書館、公民館、文化会館、多目的文化交流ホール、コミュニティセンター、市民交流センター、地域振興センター、青少年育成センター、理科センター、集会施設などとの組み合わせ）、「学校との複合・併設」が 7 館（大学の校舎内に設置など）、「企業、官公庁との複合・併設」が 25 館（企業博物館以外は、支所・事務局・事務所、観光協会、商工会議所、オフィスビルなどとの組み合わせ）、「研究施設との複合・併設」が 4 館（研究所、埋蔵文化財センターなどとの組み合わせ）、「商工施設との複合・併設」が 12 館（ファッションビル、工場、本店などとの組み合わせ）、「観光施設との複合・併設」が 7 館（物産館、道の駅、劇場などとの組み合わせ）、「住宅との複合・併設」が 6 館（マンションとの組み合わせ）、「その他の施設との複合・併設」が 12 館（空港のターミナルビル、野球場、競艇場、寺院の建物、教会などとの組み合わせ）であることがわかります。

前回報告でも触れたように、こうした複合・併設形態のバリエーションは、ますます多様化しています。今回の開設博物館には空港内美術館も含まれています。利用者の利便性の追求とともに、その施設だけでなく、所在する地域やまちの魅力向上につながったり、地域内外の利用者にとって集い・交流しやすい空間の創出につながると望ましいと考えます。

<図－5>施設の形態（単独／複合・併設）



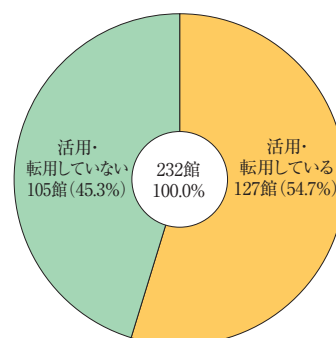
博物館の設置にあたって、既存の建物や歴史的建造物を活用・転用して行っているかについて調査した結果、全体の半数以上が、こうした建物を活用・転用して博物館を設置していることがわかりました。新たに施設を建設したのは全体の 4 割強でした。前回報告と大きな差は見られませんでした。

「活用・転用」の形態（回答）に目を転じると、「既存の建物」として、(旧)庁舎、(旧)校舎、大学の研究所・図書館、(旧)宿泊施設（ペンションなど）、図書館、商業ビル、空き店舗、オフィス、工場、倉庫、民家、アトリエ、市民ギャラリー、交流センター、(旧)病院、(旧)保育所、使われなくなった美術館・科学館・資料館・記念館・文学館・展示室などが挙げられています。この中には、太田市立新田荘歴史資料館（旧東毛歴史資料館）、我孫子市白樺文学館（私設の旧白樺文学館）、堺市立泉北すえむら資料館（旧大阪府立泉北考古資料館）、佐用町昆虫館（旧兵庫県昆虫館）、中津市木村記念美術館（私設美術館の旧木村記念館）も含まれています。

「歴史的建造物」は、江戸時代の旧宅・米蔵・石蔵、明治時代の校舎・工場・レンガ蔵、大正時代の洋館、陸軍の研究施設、作家のアトリエ付住宅、旧官舎、旧市長公舎、旧銀行、登録文化財や産業遺産の建物などが挙げられています。

既存の建物や歴史的建造物の活用・転用傾向は、近年の施設整備において既に定着したと言えます。少子化による人口減や市町村合併を契機に取り組まれている公共施設の統合・再編、市街地における空き店舗の増加などの傾向は今後も続きます。施設や空間の再利用・有効利用だけを目的にするのではなく、旧施設の特色や長所を活かした「魅力ある博物館づくり」による素晴らしいリノベーションが各地で実現することを願って止みません。

<図－6>施設の形態（既存施設や歴史的建造物の活用・転用）



■ 施設規模について

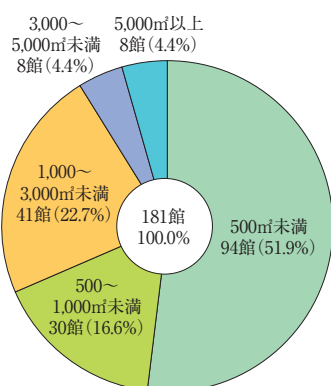
有効データ数：181館 2009・2010年度開設博物館の延床面積を集計した結果、最大値は14,400㎡、最小値は40㎡、平均値は1,171㎡、中央値は477㎡でした。最大値、平均値、中央値は前回報告の値を下回っています。施設の中・小規模化の傾向がさらに進んでいることがわかります。

規模（延床面積）別開設博物館数の比率を示したグラフを見ると、1,000㎡未満の施設の占める割合が68.5%を数え、大半の施設がこの区分に属していることがわかります。前回報告より、500㎡未満の施設の実数・比率がともに増えていることから、ますます小規模傾向が強まっていると言えます。

館種別の延床面積を見ると、「理工」が平均値、中央値ともに全体の数値を大きく上回っていますが、最大値を記録した施設が数値を引き上げており、他の施設は「250㎡～1,500㎡」に該当します。一方、「人文」「美術」「自然史」は平均値、中央値が全体の数値を下回っています。

設立主体別の延床面積を見ると、「都道府県」だけでなく「町村」も平均値、中央値が全体の数値を上回っています。

＜図－7＞規模（延床面積）別開設博物館数の比率

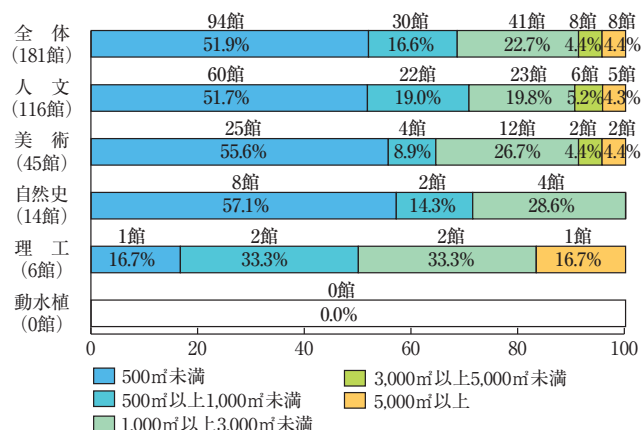


＜表－1＞館種別の延床面積（最大値、最小値、平均値、中央値）

	最大値	最小値	平均値	中央値
全 体 (181 館)	14,400	40	1,171	477
人 文 (116 館)	9,475	40	1,147	475
美 術 (45 館)	9,100	60	1,139	440
自然史 (14 館)	2,036	50	636	417
理 工 (6 館)	14,400	258	3,108	965
動水植 (0 館)	-	-	-	-

※（ ）内は有効データ館数 ※単位は㎡

＜図－8＞館種で見る規模（延床面積）別開設博物館数の比率



＜表－2＞設立主体別の延床面積（最大値、最小値、平均値、中央値）

	最大値	最小値	平均値	中央値
全 体 (181 館)	14,400	40	1,171	477
国 (13 館)	3,641	80	842	498
都道府県 (4 館)	9,475	485	3,941	2,901
市・区 (75 館)	6,463	47	1,024	670
町・村 (14 館)	8,829	165	1,468	870
法人 (56 館)	14,400	83	1,353	445
個人・その他 (19 館)	7,800	40	635	114

※（ ）内は有効データ館数 ※単位は㎡

■ 総工事費について

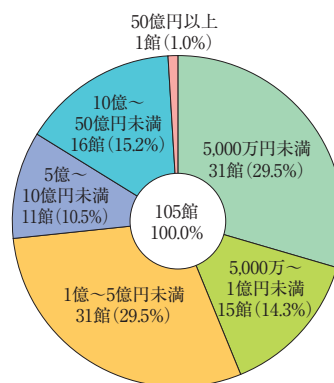
有効データ数：105館 総工事費を集計した結果、最大値は5,500,000千円、最小値は1,500千円、平均値は576,999千円、中央値は150,000千円でした。施設規模同様、最大値、平均値、中央値が前回報告の値を下回っています。このデータからも中・小規模（総工事費）化の傾向がさらに進んでいることがわかります。

総工事費別開設博物館数の比率を示したグラフを見ると、「5,000万円未満」と「1億～5億円未満」の施設の占める割合がともに29.5%を示しています。前回報告より、「5,000万円未満」「5,000万～1億円未満」の施設が実数・比率ともに増えていることから、ますます小規模（小額化）傾向が強まっていると言えます。

館種別の総工事費を見ると、サンプル数の少ない「理工」以外に「美術」が平均値、中央値ともに全体の数値を上回っています。一方、「自然史」は平均値、中央値ともに全体の数値を下回っています。

設立主体別の総工事費を見ると、「都道府県」が平均値、中央値ともに全体の数値を大きく上回り、「町・村」と「個人・その他」が平均値、中央値ともに全体の数値を下回っていますが、前回報告時と同様の傾向と言えます。

＜図－9＞総工事費別開設博物館数の比率

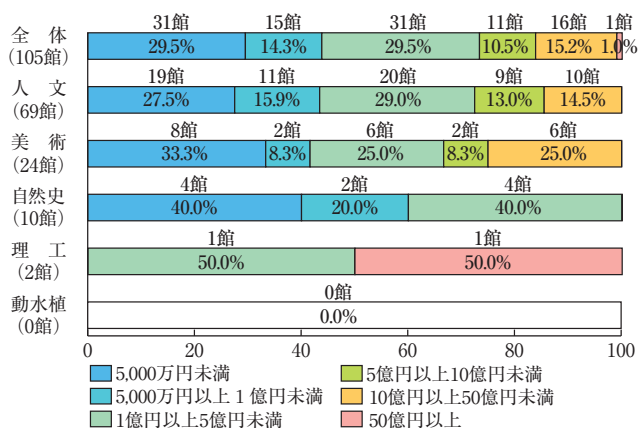


＜表－3＞館種別の総工事費（最大値、最小値、平均値、中央値）

	最大値	最小値	平均値	中央値
全 体 (105 館)	5,500,000	1,500	576,999	150,000
人 文 (69 館)	4,370,000	1,500	540,353	150,000
美 術 (24 館)	4,000,000	6,000	680,769	150,055
自然史 (10 館)	460,000	20,290	126,216	64,892
理 工 (2 館)	5,500,000	200,000	2,850,000	2,850,000
動水植 (0 館)	-	-	-	-

※（ ）内は有効データ館数 ※単位は千円

＜図－10＞館種で見る総工事費別開設博物館数の比率



＜表－4＞設立主体別の総工事費（最大値、最小値、平均値、中央値）

	最大値	最小値	平均値	中央値
全体 (105 館)	5,500,000	1,500	576,999	150,000
国 (5 館)	460,000	33,390	229,878	200,000
都道府県 (3 館)	4,370,000	322,753	1,679,918	347,000
市・区 (52 館)	3,351,661	4,400	553,081	222,897
町・村 (12 館)	1,007,243	37,453	305,426	133,605
法人 (19 館)	5,500,000	5,000	943,298	80,988
個人・その他 (14 館)	3,830,000	1,500	289,129	14,000

※ () 内は有効データ館数 ※ 単位は千円

■ 2009・2010年度開設博物館の運営状況について

ここでは、職員の配置状況（総職員数、研究・学芸系職員数、事務・管理系職員数、常勤職員数、非常勤職員数）について集計した結果を報告します。

総職員数の比率を見ると、5人以下の施設が全体の51.9%を占めています。そのうち、3人以下の施設は全体の3分の1以上(34.3%)に該当します。一方、10人以上の職員を有する施設は全体の4分の1以上(27.8%)を示しています。総職員数の最大値は104人、最小値は1人、平均値は8.2人、中央値は5人でした。

研究・学芸系職員数の比率を見ると、1人もしくは2人の施設が全体の3分の1以上(35.4%)を占めています。研究・学芸系職員を配置していない施設も全体の約3割(29.3%)を数えました。一方、10人以上の研究・学芸系職員を有する施設は全体の7.1%を示しています。研究・学芸系職員数の最大値は92人、最小値は0人、平均値は3.5人、中央値は2人でした。

事務・管理系職員数の比率を見ると、1人、2人、3人の施設が全体の半数以上(52.5%)を占めています。事務・管理系職員を配置していない施設は全体の5.1%です。一方、10人以上の事務・管理系職員を有する施設は全体の14.1%を示しています。事務・管理系職員数の最大値は23人、最小値は0人、平均値は4.7人、中央値は3人でした。平均値、中央値ともに研究・学芸系職員の値を上回っています。

常勤職員数の比率を見ると、1人もしくは2人の施設が全体の3分の1以上(35.5%)を占めています。常勤職員を配置していない施設は全体の約2割(18.3%)でした。一方、10人以上の常勤職員を有する施設は全体の3.8%に過ぎません。常勤職員数の最大値は33人、最小値は0人、平均値は3.4人、中央値は2人でした。

非常勤職員数（嘱託、臨時職員を含む）の比率を見ると、1人、2人、3人の施設が全体の45.3%を占めています。非常勤職員を配置していない施設は全体の15.4%でした。一方、10人以上の非常勤職員を有する施設は全体の13.5%を示しており、前回報告を上回っています。非常勤職員数の最大値は71人、最小値は0人、平均値は4.7人、中央値は2.5人でした。前回報告より、常勤職員数の平均値は下がり、非常勤職員数の平均値は上がっています。

＜表－5＞総職員数の比率

総職員数	回答館	構成比
1人	11 館	10.2%
2～3人	26 館	24.1%
4～5人	19 館	17.6%
6～7人	12 館	11.1%
8～9人	10 館	9.3%
10～15人	14 館	13.0%
16～20人	12 館	11.1%
21人以上	4 館	3.7%
全 体	108 館	100.0%

＜表－6＞研究・学芸系職員数の比率

研究・学芸系職員数	回答館	構成比
0人	29 館	29.3%
1人	19 館	19.2%
2人	16 館	16.2%
3人	11 館	11.1%
4人	8 館	8.1%
5～9人	9 館	9.1%
10～20人	6 館	6.1%
21人以上	1 館	1.0%
全 体	99 館	100.0%

＜表－7＞事務・管理系職員数の比率

事務・管理系職員数	回答館	構成比
0人	5 館	5.1%
1人	20 館	20.2%
2人	20 館	20.2%
3人	12 館	12.1%
4人	11 館	11.1%
5～9人	17 館	17.2%
10～20人	13 館	13.1%
21人以上	1 館	1.0%
全 体	99 館	100.0%

＜表－8＞常勤職員数の比率

常勤職員数	回答館	構成比
0人	19 館	18.3%
1人	17 館	16.3%
2人	20 館	19.2%
3人	13 館	12.5%
4人	10 館	9.6%
5～9人	21 館	20.2%
10～20人	2 館	1.9%
21人以上	2 館	1.9%
全 体	104 館	100.0%

＜表－9＞非常勤職員数の比率

非常勤職員数	回答館	構成比
0人	16 館	15.4%
1人	22 館	21.2%
2人	14 館	13.5%
3人	11 館	10.6%
4人	5 館	4.8%
5～9人	22 館	21.2%
10～20人	13 館	12.5%
21人以上	1 館	1.0%
全 体	104 館	100.0%

2009・2010年度開設博物館一覧表

丹青研究所調べによる2009・2010年度(2009年4月～2011年3月)の開設博物館リストです。この中には、旧施設を発展的に解消して移転新築、取り壊し新築した館も含まれています。

●2009年度開設博物館(2009年4月～2010年3月)

館 園 名	開設年月	所 在 地
旭川文学資料館	2009.05	北海道旭川市常磐公園1971-5 旭川市常磐館
知床世界遺産センター	2009.04	北海道斜里郡斜里町ウトロ西186-10
知床世界遺産 ルサフィールドハウス	2009.06	北海道目梨郡羅臼町北浜8
北海道坂本龍馬記念館	2009.11	北海道函館市末広町8-6
北海道洞爺湖サミット記念館	2009.04	北海道虻田郡洞爺湖町洞爺湖温泉142
万華鏡ミュージアム「ふらの やまべ美ゆーじあむ ふらび」	2009.06	北海道富良野市山部西14線2
秋田雨雀記念館	2009.11	青森県黒石市中町8 津軽こみせ駅2階
安藤昌益資料館	2009.10	青森県八戸市八日町3 八鶴試験展示場内
瀬戸内寂聴記念館	2009.05	岩手県二戸市浄法寺町下前田37-4 二戸市浄法寺総合支所内
斎藤報恩会博物館 ポケットミュージアム	2009.07	宮城県仙台市青葉区大町2-10-14 仙台パークサイドビル2F
東北学院大学博物館	2009.11	宮城県仙台市青葉区土樋1-3-1
登米市高倉勝子美術館 「桜小路」	2009.10	宮城県登米市登米町寺池桜小路88-1
協和農村文化伝承交流館	2009.09	秋田県大仙市協和上淀川和田30-1
湯沢市川連漆器伝統工芸館	2009.04	秋田県湯沢市川連町大館中野142-1
白鷹町文化交流センター Ayu:M(あゆーむ)	2009.10	山形県西置賜郡白鷹町鮎貝7331
三浦新七博士記念館	2009.04	山形県山形市七日町3-1-9 山形商工会議所会館5階
大山忠作美術館	2009.10	福島県二本松市本町2-3-1 二本松市市民交流センター 3階
池沢早人師・サーキットの狼 ミュージアム	2009.05	茨城県神栖市息栖1127-26
水戸市平和記念館	2009.08	茨城県水戸市三の丸1-4-19
予科練平和記念館	2010.02	茨城県稲敷郡阿見町廻戸5-1
小山市立車屋美術館	2009.04	栃木県小山市乙女3-10-34
太田市立史跡金山城跡ガイ ダンス施設・太田市金山地域交 流センター	2009.05	群馬県太田市金山町40-30
太田市立新田荘歴史資料館	2009.04	群馬県太田市世良田町3113-9
さいたま市大宮盆栽美術館	2010.03	埼玉県さいたま市北区土呂町2-24-3
ほくさい美術館	2009.06	埼玉県加須市北小浜146-1
我孫子市白樺文学館	2009.04	千葉県我孫子市緑2-11-8
金谷美術館	2010.03	千葉県富津市金谷2146-1
聖徳博物館	2009.09	千葉県松戸市岩瀬550 聖徳大学川並弘昭記念図書館8階
銚子カメラ博物館	2010.03	千葉県銚子市清川町2-1122
アミューズ ミュージアム	2009.11	東京都台東区浅草2-34-3
岩立フォークテキスタイル ミュージアム	2009.11	東京都目黒区自由が丘1-25-13 岩立ビル3F
古代エジプト美術館	2009.07	東京都渋谷区神南1-12-18 メゾン渋谷801
根津美術館	2009.10	東京都港区南青山6-5-1
練馬区立石神井公園 ふるさと文化館	2010.03	東京都練馬区石神井町5-12-16
三鷹市星と森と絵本の家	2009.07	東京都三鷹市大沢2-21-3 国立天文台内
武蔵国分寺跡資料館	2009.10	東京都国分寺市西元町1-13-10
山種美術館	2009.10	東京都渋谷区広尾3-12-36
愛川町郷土資料館	2009.04	神奈川県愛甲郡愛川町半原5287 県立あいかわ公園内
相模原市立史跡田名向原遺跡 旧石器時代学習館 (旧石器ハテナ館)	2009.04	神奈川県相模原市中央区田名塩田3-23-11
秋山孝ポスター美術館 長岡	2009.07	新潟県長岡市宮内2-10-8
安吾 風の館(旧市長公舎)	2009.11	新潟県新潟市中央区西大畑町5927-9
長岡市馬高縄文館 -火焰土器ミュージアム-	2009.09	新潟県長岡市関原町1-3060-1
通町御車山交流館	2009.12	富山県高岡市通町45

砺波市出町子供歌舞伎 曳山会館	2009.10	富山県砺波市出町中央5-4
ますのすしミュージアム	2009.09	富山県富山市南央町37-6
YKKセンターパーク 丸屋根展示館・YKK50ビル (吉田忠雄記念室・展示ホール)	2009.04	富山県黒部市吉田200 YKKグループ黒部事業所内
永井豪記念館	2009.04	石川県輪島市河井町1部123 朝市通り沿い
はたや記念館 ゆめおーれ勝山	2009.07	福井県勝山市昭和町1-7-40
福井県立こども歴史文化館	2009.11	福井県福井市城東1-18-21
めがねミュージアム	2010.03	福井県鯖江市新横江2-3-4 めがね会館
若狭国吉城歴史資料館	2009.04	福井県三方郡美浜町佐柿25-2
富士川・切り絵の森美術館	2010.03	山梨県南巨摩郡身延町下山1597
青木村歴史文化資料館	2010.03	長野県小県郡青木村田沢3270-1
佐久市川村吾蔵記念館	2010.03	長野県佐久市田口3112 五稜郭公園内
中野市立博物館	2009.04	長野県中野市片塩1221 北信濃ふるさとの森文化公園内
極小美術館	2009.11	岐阜県揖斐郡池田町草深大谷939-10
土岐川観察館	2009.10	岐阜県多治見市平和町6-84-3
IZU PHOTO MUSEUM	2009.10	静岡県駿東郡長泉町東野クレマチスの丘 (スルガ平)347-1
大岡信ことば館	2009.10	静岡県三島市文教町1-9-11 Z会文教町ビル1・2F
木下恵介記念館	2009.12	静岡県浜松市中区栄町3-1 旧浜松銀行協会
静岡市治水交流資料館 (かわなび)	2009.04	静岡県静岡市駿河区大谷2-24-11
スズキ歴史館	2009.04	静岡県浜松市南区増楽町1301
沼津市芹沢光治良記念館	2009.10	静岡県沼津市我入道蔓陀ヶ原517-1
なごや地球ひろば	2009.06	愛知県名古屋市中村区平池町4-60-7 JICA中部 交流棟1・2F
渡辺健一トリックアート美術館	2009.10	愛知県名古屋市中村区滝川町40
大王埴台ミュージアム	2010.03	三重県志摩市大王町波切城山54
京都外国語大学 国際文化資料館	2009.06	京都府京都市右京区西院笠目町6 京都外国語大学10号館4階(第二分館内)
逸翁美術館	2009.10	大阪府池田市栄本町12-27
EXPO'70/パビリオン	2010.03	大阪府吹田市千里万博公園10-10
大阪狭山市立郷土資料館	2009.06	大阪府大阪狭山市池尻中2 大阪府立狭山池博物館内
安中新田会所跡 旧植田家住宅	2009.05	大阪府八尾市植松町1-1-25
アシックス スポーツ ミュージアム	2009.07	兵庫県神戸市中央区港島中町7-1-1
あずきミュージアム	2009.06	兵庫県姫路市阿保甲611-1
上田安子記念館	2009.06	兵庫県西宮市殿山町4-26
エーデルワイス ミュージアム	2009.07	兵庫県尼崎市尾浜町1-3-22
甲子園歴史館	2010.03	兵庫県西宮市甲子園町1-82
神戸市立海外移住と文化の 交流センター	2009.06	兵庫県神戸市中央区山本通3-19-8
佐用町昆虫館	2009.04	兵庫県佐用郡佐用町船越617
三田ふるさと学習館	2010.02	兵庫県三田市屋敷町7-33
新温泉町山陰海岸 ジオパーク館	2009.09	兵庫県美方郡新温泉町芦屋水尻 浜坂県民サンビーチ内
BBプラザ美術館	2009.07	兵庫県神戸市灘区岩屋中町4-2-7 BBプラザ2F
兵庫教育大学 教材文化資料館	2009.10	兵庫県加東市下久米942-1
麻酔資料館 (現 麻酔博物館)	2009.08	兵庫県神戸市中央区港島南町1-5-2 神戸キメックセンタービル3階
斑鳩町文化財活用センター (斑鳩文化財センター)	2010.03	奈良県生駒郡斑鳩町法隆寺西1-11-14
旧萱野家 (大石順教尼の記念館)	2010.01	和歌山県伊都郡九度山町九度山1327
世界遺産熊野本宮館	2009.07	和歌山県田辺市本宮町本宮100-1
奥出雲 鉄の彫刻美術館	2009.04	島根県仁多郡奥出雲町八川2500-34
カンダミュージアム	2009.05	岡山県津山市川崎1920-3
現代玩具博物館・ オルゴール夢館	2010.03	岡山県美作市湯郷319-2
津山洋学資料館	2010.03	岡山県津山市西新町5
湯原温泉ミュージアム (野口冬人記念資料室)	2009.06	岡山県真庭市湯原温泉124

寄島郷土資料館	2009.04	岡山県浅口市寄島町16010 寄島総合支所3階	飯塚毅記念館・IT博物館	2011.02	栃木県宇都宮市鶴田町1740-6 ITCビル1階
東広島市原爆資料展示室	2009.07	広島県東広島市西条西本町28-6 東広島市市民文化センター 2階	石井河岸菊池記念歴史館	2010.04	栃木県宇都宮市石井町2287
下関市立近代先人顕彰館 (田中綱代ぶんか館)	2010.02	山口県下関市田中町5-7	しらさぎ美術館	2010.11	栃木県宇都宮市下田原町1758-1
松陰神社宝物殿「至誠館」	2009.10	山口県萩市椿東1537	龍泉寺美術館	2010.09	栃木県足利市助戸1-652
美祢市長登銅山文化交流館 (大仏ミュージアム)	2009.04	山口県美祢市美東町長登610	録ミュージアム	2010.10	栃木県小山市東城南2-23-5
山口大学工学部 学術資料展示館	2010.01	山口県宇部市常盤台2-16-1	関口ココきり絵美術館	2010.10	群馬県高崎市箕郷町上芝867-1
神山町郷土資料館	2009.04	徳島県名西郡神山村神領大埜地374-1	映画室ミュージアム	2010.04	埼玉県さいたま市浦和区東高砂町11-1 浦和バルコ7F
蘭夢美術館	2009.11	徳島県美馬市脇町北庄562-1 蘭夢ビル1階	学校給食歴史館	2010.07	埼玉県北本市朝日2-288
宗吉かわらの里展示館	2009.05	香川県三豊市三野町吉津甲153-1 宗吉瓦窯跡史跡公園内	越谷アリタキ植物園	2010.10	埼玉県越谷市越ヶ谷2563-1
愛媛大学ミュージアム	2009.11	愛媛県松山市文京町3 愛媛大学城北キャンパス	和泉奏平美術館	2010.05	千葉県山武市本須賀3841-371
白木谷国際現代美術館	2009.05	高知県南国市白木谷36	史跡長柄横穴群資料館	2010.04	千葉県長生郡長柄町徳増850-1
太刀洗レトロステーション	2009.10	福岡県朝倉郡筑前町高田417-3	千葉経済大学 地域経済博物館	2010.06	千葉県千葉市稲毛区轟町3-59-5
筑前町立大刀洗平和記念館	2009.10	福岡県朝倉郡筑前町高田2561-1	渚の博物館 (館山市立博物館分館)	2011.02	千葉県館山市館山1564-1
三潁銀行記念館 九州貨幣博物館	2009.10	福岡県大川市向島2367	ホキ美術館	2010.11	千葉県千葉市緑区あすみが丘東3-15
興田準一記念館	2009.10	福岡県みやま市瀬高町下庄800-1 みやま市立図書館内	アクセサリミュージアム	2010.04	東京都目黒区上目黒4-33-12
伊万里湾カプトガニの館	2009.07	佐賀県伊万里市瀬戸町3134-448	いのちのミュージアム	2010.09	東京都日野市百草999 日野市立百草台コミュニティセンター 3階
競艇発祥の地記念館	2009.10	長崎県大村市玖久島1-15-1 大村競艇場内	健康と医学の博物館	2011.01	東京都文京区本郷7-3-1 東京大学本郷キャンパス 医学部総合中央館(医学図書館)B1F
長崎県埋蔵文化財センター・ 苓岐市立一支国博物館	2010.03	長崎県苓岐市芦辺町深江鶴亀触515-1	国立印刷局博物館 (お札と切手の博物館)	2011.03	東京都北区王子1-6-1
長崎市亀山社中記念館	2009.08	長崎県長崎市伊良林2-7-24	国立極地研究所 南極・北極科学館	2010.07	東京都立川市緑町10-3
藤崎家住宅「赤松館」	2009.11	熊本県葦北郡芦北町田浦788	新宿区立佐伯祐三アトリエ 記念館	2010.04	東京都新宿区中落合2-4-21 新宿区立佐伯公園内
万田坑ステーション	2009.04	熊本県荒尾市原万田200-2	センチュリーミュージアム	2010.10	東京都新宿区早稲田鶴巻町110-22
九州芸術の杜 前田真三・前田晃 風景写真館	2009.05	大分県玖珠郡九重町田野1712-707	Discovery Museum (ディスカバリー・ミュージアム)	2010.10	東京都大田区羽田空港3-4-2 第2旅客ターミナル3階
都城島津邸 都城島津伝承館	2010.03	宮崎県都城市早鈴町18-5	防災体験学習施設 「そなエリア東京」	2010.07	東京都江東区有明3-8-35 東京臨海広域防災公園内
みやざきアートセンター	2009.10	宮崎県宮崎市橋通西3-3-27 アートセンタービル3F	三菱一号館美術館	2010.04	東京都千代田区丸の内2-6-2
宮崎市生目の杜遊古館 埋蔵文化財センター	2009.04	宮崎県宮崎市跡江4058-1	鎌倉市川喜多映画記念館	2010.04	神奈川県鎌倉市雪ノ下2-2-12
鳥尾敏雄記念室	2009.04	鹿児島県奄美市名瀬古田町1-1 鹿児島県立奄美図書館内	真鶴町立遠藤貝類博物館	2010.04	神奈川県足柄下郡真鶴町真鶴1175-1
沖縄市戦後文化資料展示室 (ヒストリートⅡ)	2009.09	沖縄県沖縄市中央1-17-19	宮川香山 眞葛ミュージアム	2010.10	神奈川県横浜市神奈川区栄町6-1 ヨコハマポートサイド ロア参番館1F-2
			明治大学平和教育登戸研究所 資料館	2010.04	神奈川県川崎市多摩区東三田1-1-1 明治大学生田キャンパス内
			みつけ伝承館 (見附市民俗文化資料館)	2010.04	新潟県見附市学校町2-7-9
			金沢菓子木型美術館	2011.02	石川県金沢市大手町10-15
			金沢市立安江金箔工芸館	2010.10	石川県金沢市東山1-3-10
			小松市埋蔵文化財センター	2010.04	石川県小松市原町ト77-8
			佐久間記念交流会館	2010.04	福井県三方上中郡若狭町北前川161-2
			豊原三千坊史料館	2010.12	福井県坂井市丸岡町田屋77-44
			甲府市藤村記念館	2010.10	山梨県甲府市北口2-2-1
			熊井啓記念館	2011.02	長野県安曇野市豊科5609-3 豊科交流学習センター「きぼう」2階
			ゴッホが愛した歌川派 (浮世絵)美術館	2010.10	長野県大町市平2811-25
			信州大学繊維学部資料館	2010.04	長野県上田市常田3-15-1
			高橋まゆみ人形館	2010.04	長野県飯山市飯山2941-1
			なつかしの玩具展示館	2010.04	長野県東御市本海野855-1
			白馬・山とスキーの 総合資料館	2010.07	長野県北安曇郡白馬村北城5732-2 八方文化会館2階
			福来記念・山本資料館	2010.04	岐阜県高山市国府町八日町702
			静岡市美術館	2010.05	静岡県静岡市葵区紺屋町17-1 葵タワー 3F
			静岡市立登呂博物館	2010.10	静岡県静岡市駿河区登呂5-10-5
			中部武将館 SAMURAI LAB.	2011.02	愛知県常滑市セントレア1-1 中部国際空港セントレアターミナルビル1階 ウェルカムガーデン内
			ヤマザキマザック美術館	2010.04	愛知県名古屋市中区葵1-19-30
			リニア・鉄道館	2011.03	愛知県名古屋市中港区金城ふ頭3-2-2
			AKATSUKA FFC ミュージアム	2010.09	三重県津市高野尾町1868-3
			甲賀市くすり学習館	2010.08	滋賀県甲賀市甲賀町大原中898-1

●2010年度開設博物館(2010年4月～2011年3月)

館 園 名	開設年月	所 在 地
かたるべの森美術館	2010.05	北海道上川郡当麻町伊香牛2区
太陽の森 デイマシオ美術館	2010.08	北海道新冠郡新冠町太陽204-5
知里幸恵 銀のしずく記念館	2010.09	北海道登別市登別本町2-34-7
箱館奉行所	2010.07	北海道函館市五稜郭町44-3
洗心美術館	2010.06	青森県八戸市長苗代上碓田56-2
八戸ポータルミュージアム はっち	2011.02	青森県八戸市三日町11-1
浄土ヶ浜ビジターセンター	2010.04	岩手県宮古市日立浜町32-69
大塩市民センター 大塩民俗資料展示室	2010.04	宮城県東松島市大塩中沢26-1
中鉢美術館	2010.08	宮城県大崎市岩出山上川原町7-6
松島十二支記念館	2010.10	宮城県宮城郡松島町松島普賢堂13-1
花岡平和記念館	2010.04	秋田県大館市花岡町前田88-1
観光文化交流センター 山形まなび館 (山形市文化財展示室・ 紅花文庫)	2010.04	山形県山形市本町1-5-19
鶴岡市立藤沢周平記念館	2010.04	山形県鶴岡市馬場町4-6
川俣町羽山の森美術館	2010.11	福島県伊達郡川俣町西福沢山枡内20
喜多方市カイギュランド たかさと	2010.07	福島県喜多方市高郷町西羽賀和尚堂3163
KEKコミュニケーション プラザ	2010.04	茨城県つくば市大穂1-1 KEKつくばキャンパス 国際交流センター内
筑波宇宙センター 展示館「スペースドーム」	2010.07	茨城県つくば市千現2-1-1

下之郷史跡公園 環濠保存施設	2010.11	滋賀県守山市下之郷1-12-8
京指物資料館	2010.05	京都府京都市中京区夷川通堺町西入の網屋町 129 宮崎平安堂ビル2F
朝日劇場資料館	2011.02	大阪府大阪市浪速区恵美須東2-1-26
大阪大学微生物病研究所・ 微研ミュージアム	2010.12	大阪府吹田市山田丘3-1
小林一三記念館	2010.04	大阪府池田市建石町7-17
堺市立泉北すえむら資料館	2010.04	大阪府堺市南区若松台2-4 大蓮公園内
深江郷土資料館	2010.07	大阪府大阪市東成区深江南3-16-14
賀川記念館	2010.04	兵庫県神戸市中央区吾妻通5-2-20
丹波竜化石工房 「ちーたんの館」	2010.12	兵庫県丹波市山南町谷川1110
奈良市月ヶ瀬梅の資料館	2011.02	奈良県奈良市月ヶ瀬長引21-8
熊野那智 世界遺産情報センター	2011.03	和歌山県東牟婁郡那智勝浦町浜ノ宮361-2 道の駅なち 那智駅交流センター内
たたら資料館・大宮楽舎	2010.04	鳥取県日野郡日南町印賀1516 大宮地域振興センター
たたら資料館・根雨楽舎	2010.04	鳥取県日野郡日野町根雨645 日野町公舎
鳥取砂丘ジオパークセンター	2010.04	鳥取県鳥取市福部町湯山2164-661
弥生の館むきばんだ	2010.04	鳥取県西伯郡大山町妻木1115-4
米子市埋蔵文化財センター	2010.04	鳥取県米子市福市281
出雲弥生の森博物館	2010.04	島根県出雲市大津町2760
松江歴史館	2011.03	島根県松江市殿町279
アーティスト・ハウス 泉地靖雄美術館	2011.01	岡山県岡山市南区迫川1114
児島学生服資料館	2010.11	岡山県倉敷市児島下の町5-5-3
瀬戸内市立美術館	2010.10	岡山県瀬戸内市牛窓町牛窓4911 瀬戸内市役所牛窓庁舎3・4階
三良坂民俗資料館	2010.08	広島県三次市三良坂町灰塚8-2
ヤマトギャラリー零 (ZERO)	2010.08	広島県呉市中通3-3-17
下関市立東行記念館	2010.06	山口県下関市吉田1184
東大寺別院 阿弥陀寺宝物館	2010.10	山口県防府市牟礼上坂本1869

徳島県立鳥居龍蔵記念博物館	2010.11	徳島県徳島市八万町向寺山 徳島県文化の森総合公園内
豊島美術館	2010.10	香川県小豆郡土庄町豊島唐櫃607
李禹煥美術館	2010.06	香川県香川郡直島町倉浦1390
王貞治 ベースボールミュージアム	2010.07	福岡県福岡市中央区地行浜2-2-2 福岡ヤフオク!ドーム内
九州歴史資料館	2010.11	福岡県小郡市三沢5208-3
向野堅一記念館	2010.09	福岡県直方市殿町12-19
原田脩記念 ギャラリー稲童	2010.08	福岡県行橋市稲童3202
豊前市立埋蔵文化財 センター	2010.05	福岡県豊前市八屋1776-2
雲仙市歴史資料館 国見展示館	2010.08	長崎県雲仙市国見町神代丙178-1
雲仙市歴史資料館 南串山展示館	2010.07	長崎県雲仙市南串山町甲2717-4
西海国立公園九十九島 ビジターセンター	2010.07	長崎県佐世保市鹿子前町1053-2 西海パルシーリゾート内
佐世保市少年科学館 「星きらり」	2010.10	長崎県佐世保市保立町12-31
長崎南山手美術館	2010.10	長崎県長崎市南山手町4-3
長崎路面電車資料館	2010.04	長崎県長崎市川口町13-1 長崎西洋館3階
天草市立天草キリシタン館	2010.07	熊本県天草市船之尾町19-52
球磨焼酎ミュージアム 白岳伝承蔵	2010.05	熊本県人吉市合ノ原町461-7
濱名志松五足の 靴文学資料館	2010.10	熊本県天草市天草町大江7523
歴史文化体験施設「湧々座」	2011.03	熊本県熊本市中央区二の丸1-1-1 桜の馬場 城彩苑内
咸宜園教育研究センター	2010.10	大分県日田市淡窓2-2-18
中津市木村記念美術館	2010.10	大分県中津市片端町1366-3
鹿児島空港 航空展示室 「SORA STAGE」	2010.09	鹿児島県霧島市溝辺町麓822 鹿児島空港国内線ターミナルビル3階
龍馬資料館「この世の外」	2010.05	鹿児島県霧島市牧園町宿窪田3606 塩浸温泉龍馬公園内
野球資料館	2010.04	沖縄県那覇市奥武山町42-1 沖縄セルラースタジアム那覇内

特集：2009年度・2010年度リニューアル博物館情報

丹青研究所調べによる、2009年度・2010年度(2009年4月～2011年3月)にリニューアルを実施した全国の博物館数は282館です(本報告では、2009年度と2010年度の両年度ともにリニューアルを実施した館は2館で集計しています：27館が該当します)。

ここでは、各館からいただいた資料や当研究所が独自に収集したデータをもとに、2009・2010年度のリニューアル博物館について傾向を示し、都道府県別のリニューアル博物館リストを掲載します。

■ 2009・2010年度リニューアル博物館の傾向

282館の内訳は、2009年度リニューアル博物館139館、2010年度リニューアル博物館143館です。

施設・設備の老朽化によるリニューアルをはじめ、新たな機能や役割を果たすために施設や館内設備の改修を実施したケースや、開館後の資料・情報・研究成果の蓄積に基づいた展示の更新、時代に即した展示内容や展示手法に取り組んだ改装、周年事業や記念年(2010年の「平城遷都1300年祭」など)、さらには新たな交通インフラの整備(開通・開業)やNHK大河ドラマ(「天地人」「龍馬伝」「江～姫たちの戦国～」)と関連した観光促進事業としての取り組みなど、その内容や

要因は様々です。

2009年度リニューアル博物館には、旭川市旭山動物園(北海道)、国立歴史民俗博物館(千葉県)、北区飛鳥山博物館(東京都)、東京都恩賜上野動物園、東武博物館(東京都)、横浜みなと博物館(神奈川県)、静岡市立日本平動物園(静岡県)、メナード美術館(愛知県)、姫路科学館<アトムの館>(兵庫県)、興福寺国宝館(奈良県)、下関市立しものせき水族館<海響館>(山口県)、海の中道海洋生態科学館<マリンワールド海の中道>(福岡県)などが見られます(後掲の「2009年度リニューアル博物館一覧表」をご参照ください)。

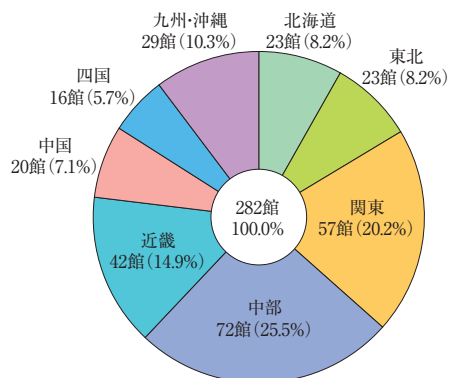
一方、2010年度リニューアル博物館には、札幌ウィントースポーツミュージアム(北海道)、遠野市立博物館(岩手県)、仙台市博物館(宮城県)、いわき市石炭・化石館(福島県)、トヨタテクノミュージアム産業技術記念館(愛知県)、名古屋市科学館(愛知県)、国立民族学博物館(大阪府)、橿原市昆虫館(奈良県)、奈良国立博物館(奈良県)、大和文華館(奈良県)、足立美術館(鳥根県)、高知県立歴史民俗資料館、かごしま近代文学館・かごしまメルヘン館(鹿児島県)などが見られました(後掲の「2010年度リニューアル博物館一覧表」をご参照ください)。

各館のリニューアル内容については、後掲の一覧表に記載しています。

■ 地方別に見たリニューアルの傾向

新設の博物館と同様、中部、関東が多いことがわかります。近畿を含めた3つの地方を合計すると、全体の6割以上に達します。また、前回報告と比べると、九州・沖縄、四国の数値が増えていることがわかります。なお、今回の調査では、佐賀県の博物館におけるリニューアル状況を確認することはできませんでした。

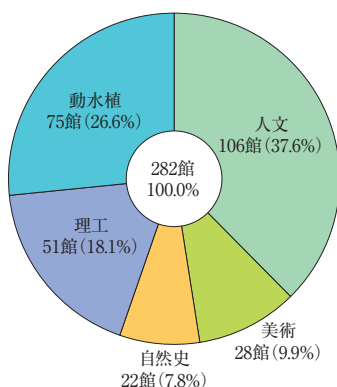
＜図－1＞地方別リニューアル博物館数の比率



■ 館種別に見たリニューアルの傾向

全国に施設数の多い「人文」が、ここでも全体の3分の1以上を占めています。次に動物園、水族館などの「動水植」が多く、全体の4分の1以上を示しています。前回報告と比べると、科学館やプラネタリウムなどの「理工」の数値が大きく増えていることがわかります。

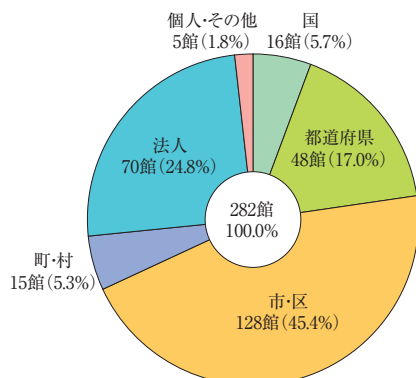
＜図－2＞館種別リニューアル博物館数の比率



■ 設立主体別に見たリニューアルの傾向

新設の博物館と同様、「市・区」「法人」の順で多く見られ、全体の約7割を占めています。前回報告と比べると、「市・区」「都道府県」の数値が大きく増えています。

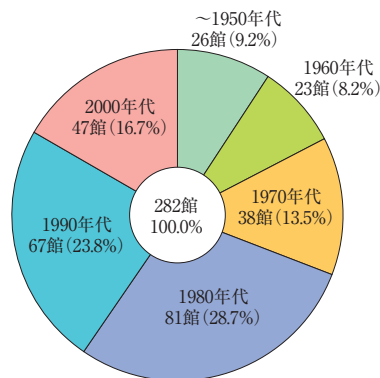
＜図－3＞設立主体別リニューアル博物館数の比率



■ 開館年代別に見たリニューアルの傾向

前回調査の結果と異なり、開館して20年以上が経過した「1980年代」開館の博物館が最も多く、全体の約3割を占めています。開館して10年以上が経過した「1990年代」開館の博物館と合わせると、全体の52.5%に該当します。「1950年代以前」に開館した博物館も前回調査より数値を増やしています。

＜図－4＞開館年別リニューアル博物館数の比率



■ リニューアルの形態について

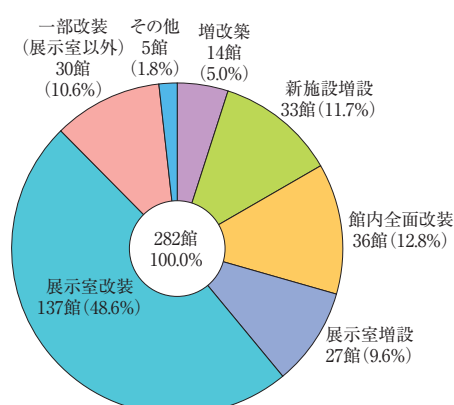
各館のリニューアル内容をもとに、「増改築」「新施設増設」「館内全面改装」「展示室増設」「展示室改装」「一部改装(展示室以外)」「その他」に分けて分析を試みました。なお、同一年度に複数のリニューアル(取り組み)を実施した館については、主要な内容を基に振り分けています。

集計した結果、「展示室改装」が最も多く、全体の半数近くを示しています。展示の改装が含まれている「館内全面改装」「展示室増設」を合わせると、全体の7割に該当することからも、リニューアルの大半が展示の改装に関するものであることがわかります。

前回報告と比べると、「館内全面改装」「一部改装(展示室以外)」の数値が増えています。本報告では、「移転新築施設」や「取り壊し新築施設」を新たな開設として扱っています。リニューアルの中で館内全面改装を行っている施設が増えていることは、近年の顕著な傾向と考えています。

なお、「その他」には、施設の補修や設備の改修に関する事例を含めています。

＜図－5＞リニューアルの形態の比率



2009・2010年度リニューアル博物館一覧表

● 2009 年度リニューアル博物館（2009 年 4 月～2010 年 3 月）

旭川市旭山動物園【北海道旭川市】2009.04・2009.05・2009.08
2009 年 4 月、「エゾシカの森」がオープン。昔の北海道の自然を思い出し、絶滅に迫っていたオオカミと今害獣とされているエゾシカの問題を考え直してみようというコンセプトで、2008 年 6 月にオープンした「オオカミの森」に隣接して整備。森の中央には、エゾシカの能力を十分に発揮できるよう柱状節理をイメージした高さ 6m の小山を設置。小山の中心部を通るトンネル「観察ホール」には、水を飲む様子が観察できる水槽を配置。2009 年 5 月、「ホッキョクギツネ舎」がオープン。ホッキョクギツネが生息するツンドラ地帯の海岸の岩場を再現。岩場の再現スペースや木の枝を渡した堀、芝生などを設置。地面はそれまでのチップから土に変更。2009 年 8 月、「てながざる館」がオープン。樹木を模した高さ 14m の鉄塔があり、プラキエーションをしながら移動する様子や、施設内のロープや鉄棒を使ったすばい動きが観察できるように整備
帯広市児童会館 帯広市青少年科学館【北海道帯広市】2010.03
科学展示室一角の広さ約 30 m ² を改修し、「地球のようす館」がオープン。プロジェクターと 100 インチのスクリーンなどを設置。地球の美しさや温暖化問題について、見て、ふれて、聞いて、探す科学展示品を整備
釧路市動物園【北海道釧路市】2009.04・2009.12
2009 年 4 月、アムールトラの「新獣舎」がオープン。後脚などに障害を持って生まれたアムールトラ 2 頭に配慮したバリアフリー施設を整備。屋外運動場は脚に負担をかけない芝生張り。運動場と寝室などを結ぶ通路は段差なしにしている。2009 年 12 月、約 6.5 m ² のエゾクロテンの獣舎がオープン。太い流木をくりぬき、片面をガラス張りにした人工のウロを獣舎内に設置
札幌市青少年科学館【北海道札幌市】2010.03
3 階の「ロボットコーナー」がリニューアルオープン。「ロボットになろう!」をテーマに、「見る」「歩く」「運ぶ」「考える」という 4 つのロボットの機能を実際に体感しながら、ロボットの仕組みを理解できる展示を設置
札幌市円山動物園【北海道札幌市】2009.04・2010.02・2010.03
2009 年 4 月、自然体験ゾーン「円山動物園の森」がオープン。立ち入り禁止にしていた区域に散策路などを整備し公開。国の天然記念物・円山原始林に隣接する園内東側の森約 2ha を整備し、土日祝日に 1 日 2 回、動物園スタッフがガイドする「森の散策タイム」でのみ立ち入ることができる。約 2 百種類あるといわれる植物や、夏には国産のオオムラサキなどを見ることができる。2010 年 2 月、フンボルトペンギンの展示場がリニューアルオープン。来園者とペンギンを隔っていた柵を高さ約 70 cm の透明なアクリル板に替え、ペンギンの姿が観察しやすい施設に整備。壁や床を岩を模した灰色にして、生息環境に近い展示へと改修。2010 年 3 月、オオワシの繁殖用、訓練用の 2 つのケージが完成。ロシア・サハリン州などと協力して進める絶滅危惧種オオワシの繁殖・保護プログラムを本格的に始動。繁殖用ケージは縦 6m、横 10m、高さ 8m。内部には松の木を並べるなどサハリンの自然に近い環境を再現。マジックミラーを設置し、別室のモニターで常時観察することができる
名寄市北国博物館【北海道名寄市】2010.02
1996 年の開館以来初となる常設展示室内の映像展示コーナーを全面リニューアル。75 インチ 3 面の大型スクリーンに映し出す投影装置を、画質の良い新しいものに交換。上映番組も、開館以降にできた市施設やイベント、合併した旧風連町の情報を加えるなど、2 年がかりで内容を一新
登別マリンパークニクス【北海道登別市】2009.07
アシカショープールの地階にイワシとサメの展示水槽「銀河水槽」を新たにオープン。長さ約 10m ある大水槽にイワシ 1 万匹、サメ、エイを混泳展示し、イワシが身を守るように集団で回避する様子を見ることができ
博物館網走監獄【北海道網走市】2010.02
既存の「行刑資料館」を「監獄歴史館」として全面リニューアルオープン。音や映像を駆使して身体で感じ、五感に訴える参加体験型の施設に全面改装。体感シアターでは、1891 年に受刑者が開削した中央道路の労役を、3 方向の多層スクリーン映像で解説。また、現在の網走刑務所の共同室（雑居房）、単独室（独房）を忠実に再現したほか、網走市民が刑務所の思い出を語る映像コーナーも設置
三笠市立博物館【北海道三笠市】2010.03
人文系展示室と講演室や図書室を整備。すべての展示物を 1 階で観覧できるように整備（西側 2 階に展示していた空知集治監や郷土出身者の資料を 1 階へ移設）、西側 2 階には講演室や図書室を整備し、生涯学習機能を充実
八戸市水産科学館（マリエント）【青森県八戸市】2009.04
3 階の「ウミネコシアター」をリニューアル。海や科学に関する短編映画、八戸市の紹介映画の上映後に、スクリーン全体が上がり、ガラスの向こうに実際の八戸港の景観が楽しめるように整備
岩手県立博物館【岩手県盛岡市】2009.04
1 階の「いわて自然史展示室」に新コーナー「地球史の中の岩手の自然」を開設。大船渡市で古生代シルル紀（約 4 億 3 千 500 万年前～約 4 億 1 千万年前）の地層が国内で初めて発見された際に産出したハチノササゴの化石や、米国のティラノサウルスの歯、宮古市のアンモナイト類の化石（いずれも複製）など、国内外の化石や岩石約 200 点を展示。県内外や外国の資料を比較できるほか、あらゆる時代の地層や岩石が分布し、多様性に富む岩手県の大地の成り立ちを紹介
釜石市立鉄の歴史館【岩手県釜石市】2009.08
2007 年の近代製鉄発祥 150 周年を契機に展示リニューアルを実施。官民によるリニューアル事業検討委員会が内容を検討。鉄に関する理解を深める子ども向けのコーナーを新設。ブリキ製玩具で遊んだり、顕微鏡で鉄鉱石を観察することができるほか、鋳造体験の専用室も設置。銅板をむき出しにした自動車の車体やスチールコード入りタイヤなどを展示して、現代生活を支える鉄の重要性を伝える
平泉文化遺産センター（旧：平泉郷土館）【岩手県平泉町】2009.04
平泉の世界文化遺産登録を見据えて、平泉郷土館を「平泉文化遺産センター」としてリニューアルオープン。発掘で見つかった出土品に加え、CG 映像や音声などを用いて平泉の文化財や遺跡をわかりやすく解説。藤原氏の時代より前に栄えた安倍氏の時代から現代に至るまでの平泉の歴史を概観。また、地域の文化活動の拠点としてホールや研修室などを併設

角田宇宙センター 展示室【宮城県角田市】2009.04
展示室を改修してリニューアルオープン。日本のロケット研究開発の過去と未来を同時に学べる施設にリニューアル。それまでの常設展示スペースに約 65 m ² を加え、約 200 m ² の展示に拡張。新設したスペースは「失敗から学ぶ」がテーマ。1999 年に鹿児島県の種子島宇宙センターで打ち上げに失敗し、海底から回収された H2 ロケット 8 号機エンジンを一般向けに公開。噴射器やターボポンプなど、エンジン部品の実物を間近に見られるほか、歴代ロケットの模型を入口付近に配置
松山ふるさと歴史館【宮城県大崎市】2009.10
「フランク永井展示室」がオープン。昭和の歌謡歌手、フランク永井の遺品を陳列する展示室を開設。1961 年に「君恋し」で受賞した日本レコード大賞の記念盾や、舞台衣装、写真、フルートなどの愛用の楽器など約 300 点を展示
秋田市大森山動物園【秋田県秋田市】2009.04
老朽化に伴い建て替えていた「コウノトリ舎」が完成。新舎には、高さ約 1.8m の巣台や止まり木を整備。草食動物ゾーン内には、大型遊具で遊びながら動物を間近で見られる「アソヴェの森」も完成。「アソヴェの森」は、動物の展示場の中を通り抜けることができる動物空中観察遊具。歩行デッキからはトナカイやラマなどを上から見るができる。学習パネルやハンモックも設置。施設整備は、財団法人日本宝くじ協会の「大型遊具設置事業」を活用
山形県産業科学館【山形県山形市】2009.05
様々な形状の鏡を使って光の反射現象を体験できる装置「鏡の不思議」を新設。ゆがんだ画像を鏡を使って復元する体験型展示装置で、ゲーム感覚で光の屈折や反射について理解を深めることができる。科学の基礎が学べる 4 階「たんけん科学ランド」中央の「発明工房」隣に設置
ただみ・ブナと川のミュージアム（旧：川の歴史博物館）【福島県只見町】2009.10
川の歴史博物館が「ただみ・ブナと川のミュージアム」としてリニューアルオープン。只見町のブナを生かした地域活性化の拠点施設として整備。水辺や山中に生えるブナの巨木を館内に再現するとともに、町内のブナの名所を紹介する映像シアターを設置するなど、只見町の自然を詳しく紹介
ふくしま海洋科学館（アクアマリンふくしま）【福島県いわき市】2010.03
子ども体験館「アクアマリンえっく」がオープン。小学生以下を対象とした「命の教育」をテーマに開設。屋内と屋外に分かれ、屋内には「生命の誕生と循環」「生きる」「種の多様性」の各展示とボランティアワークステーション、キッズコーナー、工作コーナー、調理スペース、厨房を設置。屋外には釣り堀と釣りデッキを整備。釣り堀では自分で釣った魚をその場で食べることができる
アクアワールド茨城県大洗水族館（アクアワールド・大洗）【茨城県大洗町】2009.06
ボランティアが海の生き物を解説したり、鑑賞のサポートをする「レクチャーカウンター」を開設。来館者とのコミュニケーションをさらに増やしたいとの思いから、水槽を鑑賞する順路の中心部に新設。サメの皮や卵など実際に触れられる展示のほか、魚の折り紙教室などを楽しむことができる
原子力科学館【茨城県東海村】2009.04
新しい展示の一部が完成し、リニューアルオープン。2 年間の計画でリニューアルを実施。今回は、宇宙や原子の世界を映像で紹介する「アトミック・パノラマスコープ」、ゲームを通じて基礎的な知識が身につく「アインシュタイン・スクエア」など約半分の展示を公開
国立科学博物館筑波研究資料センター 筑波実験植物園【茨城県つくば市】2009.08
研究のための管理区域だった熱帯雨林温室 1 階を「常設展示場」としてオープン。世界でも貴重な黒いラン「シンビジウム・カナリクラツム」や、フィリピンにしか分布しない絶滅危惧種のラン「バンダ・サンデリアナ」、内部にアリを住ませアリのえさやフンから栄養をとって共生する「アリノスダマ」、酸性の水で生育する水生植物など、熱帯雨林の特殊な環境で生きる珍しい植物を展示
つくばエキスポセンター【茨城県つくば市】2010.01
2 階展示場を全面改修して、リニューアルオープン。宇宙関係の展示が中心だった「コスミックプラザ」を、幅広い研究分野を紹介し、大人でも楽しめる内容へと改修。新展示は「超への挑戦」「ナノへの挑戦」「生命への挑戦」「環境への挑戦」「宇宙への挑戦」の 5 分野で構成。併せて「創造の森 ワンダーラボ」も設置。サイエンスショーや講演会などの利用のほか、休憩スペースとしても活用
日立市かみね動物園【茨城県日立市】2009.12
入口施設を兼ねた「ふれあいプラザかみね」がオープン。併せてゾウ舎も約 2 倍の 830 m ² に拡張。同プラザは、動物園を含むかみね公園全体の活性化を図るために建設。1 階はインフォメーションコーナーや授乳室・救護室、2 階にはゾウの骨格標本や卵などの展示資料室、「エレファント・カフェ」、ボランティアルーム、売店などを整備。3 階は屋上広場として活用。拡張したゾウ舎は、コンクリート床だけでなく、自然の質感を出すために土床を設置したほか、ガラス越しにゾウと同じ目線で生態観察ができるように整備
群馬県立自然史博物館【群馬県富岡市】2010.03
1 階常設展示室の映像設備をリニューアル。「ボンベッド」と「尾瀬シアター」のモニターをこれまでのものよりも大型化し、流す映像も CG やハイビジョン映像を取り入れた最新版に更新
高崎市美術館【群馬県高崎市】2009.04
新たに地上 6 階建ての新棟が完成。1 階部分はラウンジスペース、2～3 階は展示室（展示室は 3 部屋から 5 部屋に増加）、4～5 階は収蔵庫、6 階は事務室で構成。通路などの段差を少なくし、使いやすい手すりを設けるなど、バリアフリーにも対応
埼玉県環境科学国際センター【埼玉県加須市】2010.03
「地球温暖化対策」を重点に置いた展示内容にリニューアル。直径 3m の半球面スクリーン「ガイアビジョン」では地球温暖化を解説。家庭で取り組める二酸化炭素削減のエコライフ度チェックやエコドライブ点検などができる展示を新たに配置
埼玉県立歴史と民俗の博物館【埼玉県さいたま市】2010.02
展示の改修を行って、リニューアルオープン。郷土の偉人などの人物紹介コーナーを拡大したほか、川口市の鋳物や小川町の和紙など、埼玉県内の地場産業コーナーを新設
鉄道博物館【埼玉県さいたま市】2009.04・2009.10
2009 年 4 月、シミュレータホール「209 系、211 系運転シミュレータ」の映像をリニューアル。映像を 3D グラフィックから実写映像に改編。2009 年 10 月、初代新幹線「0 系」を修復して公開。開業当時の東京駅のプラットフォームを再現して展示
東武動物公園【埼玉県宮代町】2009.09
新ライオン舎「PRIDE OF LION」がオープン。床下にトンネルを通して、獣舎の中央部分にも岩棚に似せた観察スペースを設置。三方と天井の一部がガラス張りで、ライオンが岩棚に登ったりエサを求めて走り回る様子を間近に見ることができ

国立歴史民俗博物館【千葉県佐倉市】2010.03
新たに第6展示室がオープン。1930～70年代を対象とした「現代」の常設展示室を新たに設置。主に戦前から戦後の占領期などをテーマとする「戦争と平和」と、高度経済成長期を扱った「戦後の生活革命」の2つのコーナーで構成。敗戦直後の闇市や高度経済成長期の公団団地が再現され、1955年封切りの映画「浮雲」のセットや、人気映画シリーズ「ゴジラ」の立像なども展示されている
千葉市科学館【千葉県千葉市】2009.09
9階テックタウンの機械と技術コーナーに新展示物「VICS シミュレーター」が導入。カーナビゲーションシステムが交通情報をどのように取得するかを体験することができる
エビスビール記念館(旧：恵比寿麦酒記念館)【東京都渋谷区】2010.02
恵比寿麦酒記念館が「エビスビール記念館」としてリニューアルオープン。サッポロビールの主力ブランド「エビス」が誕生して120年になるのを機に、これまでのサッポロビール全般の資料展示から「エビス」に特化したブランドの浸透を図る。館内には、過去のラベルや、歴史を解説する写真パネルなどを展示
大田区立郷土博物館【東京都大田区】2009.11
開館30周年を機にリニューアルオープン。観光という視点から、大田区の特徴をわかりやすく紹介。馬込文士村や海苔養殖、大森かわら細工、大森貝塚などを紹介するコーナーを拡充。作家・尾崎士郎などの住んだ場所を示す文士村の模型の設置や、画家・小林古径のアリエと邸宅の模型などを新設
科学技術館【東京都千代田区】2009.04
自動車展示室「ワケエコ・モーターランド」をリニューアル。「エコドライブ度」がチェックできる「タウンドライビング」、ハイブリッドカーのエンジンの電気の流れがわかる「ハイブリッド・スケルトンカー」などを設置
葛飾栄又寅さん記念館【東京都葛飾区】2009.12
展示内容のリニューアルを実施。目玉は寅さんの生い立ちを紹介するジオラマ(立体模型)。同館名誉館長で、「寅さん」シリーズの山田洋二監督が監修。主人公・車寅次郎の少年時代などを6つの場面で表現。ボタンを押すと、妹・さくら役の倍賞千恵子氏の声でナレーションが流れ、人形が動き出す仕組みが施された。寅さんの帽子、腹巻き、雪駄、トランクなどに自由に触れるコーナーも新設
北区飛鳥山博物館【東京都北区】2010.03
常設展示室の改装や飛鳥山アートギャラリーを新設して、リニューアルオープン。「さらにわかりやすく、より楽しい」展示をめざして、情報機器の更新や映像ソフトの制作、パリアフリー化などを館全体に亘って実施。1階の常設展示室には、それまでエントランスに展示されていた厚さ日本一の貝塚の剥き取り標本を移設し、常設展示に組み込むことで、既存の丸木舟と合わせて縄文時代の暮らしの様子が実物とともに実感できるように配慮。さらに情報端末や音声ガイドを新たに導入することで、お年寄りから子供、外国人(3カ国語対応)に至るまで展示情報をよりわかりやすく、楽しく学習できるように展開。また、リニューアルの大きな特徴として、3階に美術展示「飛鳥山アートギャラリー」を新設
しながわ水族館【東京都品川区】2009.07
東京の河川に生息する生き物を展示するコーナー「東京湾に注ぐ川」がリニューアル。ミズナラの木を新設し、木の空洞部に飼育箱を設置。カブトムシやクワガタ、シマリスなど、森の生物を展示。陸地に生息する生物のほか、新たにサワガニ、カモなどを追加して、約35種類の生き物を観察することができる
ソーニー・エクスプローラサイエンス【東京都港区】2009.06
新たな展示物を導入して、リニューアルオープン。均等に並んだ20個の筒形スピーカーから様々な音が聞こえる「音の場」「オンパ」や、メールがパケットに分かれて届く仕組みを画面に表した「ヴィジブル ネットワーク」など、楽しみながら学べる約30点を展示
東京都恩賜上野動物園【東京都台東区】2009.05
インド洋のマダガスカル島に生息する貴重なサルなど、9種の動物を展示する「アイアイのすむ森」が西園にオープン。不忍池北側の一角に整備した「アイアイのすむ森」には、飼育展示施設として「アイアイの森」「ワオキツネザルの展示場」「レムール(キツネザル)の森」などを配置。屋内施設では、夜行性のアイアイが活動する様子や餌をとる行動を、不忍池にかかる浮き桟橋では、日光浴をするワオキツネザルを観察することができる
東武博物館【東京都墨田区】2009.07
東武鉄道創立90周年を記念して開館20周年にあわせてリニューアルを実施。体験型コーナーなどを充実させてリニューアルオープン。戦後初の特急ロマンスカーとして1951～53年に計12両が新造された「5700系」の1両「モハ5701号」などの車両を新たに追加。また、電気機関車として1928年に英国で製造された「101号」も公開。沿線を再現した大パノラマ(シオラマ)はレイアウトを全面変更。シミュレーションも一新され、運転席から撮影したフルハイビジョン映像を駆使して、本物そっくりの運転を体験することができるように整備。展示以外にも、正面入口のレイアウトや、インフォメーション、ミュージアムショップを一新。トイレのパリアフリー化、子供用トイレや授乳室の新設など、施設のリニューアルも行っている
日本科学未来館【東京都江東区】2009.04
常設展示「技術革新と未来」を全面的に刷新。新たな展示は「想像から創造へ、そして技術革新がもたらす新しい社会へ」がテーマ。「想像から創造へ」と「技術革新の原動力」の2つのゾーンで構成。たき火の煙が熱気球のヒントになるなど、科学の発展の歴史を実例を交えて紹介
パルテノン多摩【東京都多摩市】2009.07
4階マジックサウンドルームの向かい側(旧。ワークショッブルーム)に、子どもと親子の体験室「キッズファクトリー(kids' Factory)」がオープン。キッズファクトリーでは、地域や身のまわりのことなどを理解するために、様々な体験や創作を行うことができる
神奈川工科大学厚木市子ども科学館【神奈川県厚木市】2009.07
プラネタリウムが「コスモシアター」としてリニューアルオープン。500万個の星を映し出す最新式の投影機を設置したほか、90席の座席もゆったりしたタイプに改良。貸しホールとして多目的に利用することもできる
新江ノ島水族館【神奈川県藤沢市】2009.04
開館5周年を機に、環境水槽をリニューアル。同水槽は、小さな命が集まることによってさらに強く感じられる「命」の美しさにスポットをあてるとともに、開館5周年を機にスタートした「えのすのECO」の取り組みを伝える展示水槽としても機能している。水槽照明には「LED ライト」を導入

彫刻の森美術館【神奈川県箱根町】2009.05
開館40周年を記念して、子どもたちが体全体を使って遊べる施設「ネットの森」がオープン。巨大なハンモックの造形「ネットの森」では、造形作家・堀内紀子氏が手編みしたネットで、カラフルな天井から手を振ったり、ネットから垂れ下がっているボールに乗って遊ぶことができる
箱根北原おもちゃミュージアム【神奈川県箱根町】2010.03
常設展示のリニューアルを実施。1920年代から1950年代にかけて米国で流行した「モーションディスプレイ」35点など、展示点数を大幅に拡大
藤沢市湘南台文化センター こども館【神奈川県藤沢市】2009.07
宇宙劇場「プラネタリウム」がリニューアルオープン。1989年にオープンしたプラネタリウムが経年劣化したため全面改修。従来の光学式にデジタル式を組み合わせ、迫力ある全天周動画を提供。投影する星の数は2万5千個から1千万個へ拡大。座席もワンサイズ大きいクライニング式を採用
三菱みなとみらい技術館【神奈川県横浜市】2010.01
2つの展示ゾーン「海洋ゾーン」「技術探検ゾーン」をリニューアルオープン。海洋ゾーンには、深海研究の疑似体験ができる「みなとみらい海洋研究所」を新設。技術体験ゾーンには、「HYPER MECHA HARBOR(ハイパー・メカ・ハーバー)」を新設。クレーンやフォークリフトなどの製品に応用されているメカニズムを、自分で操作して体験することができる
よこはま動物園(ズーラシア)【神奈川県横浜市】2009.04
開園10周年の年に「チンパンジーの森」をオープン。東アフリカのウガンダに2年間滞在した飼育員の川口芳矢氏がアフリカの生息地を再現。チンパンジーの生態調査の成果をもとにした「生息環境展示」が特徴。高さ10mを超える樹木を移植することで、樹上で餌を食べたり、休んだりする生態を見ることができ
横浜人形の家【神奈川県横浜市】2010.02
常設展示のリニューアルを実施。140の国・地域の民族的色彩があふれる人形に加え、日本の「御所人形」や19世紀に欧州で流行した「ビスドール」などのコレクションを増やし、展示数が約1,400点から約3,500点に倍増。人形を直接手に取ることができるハンズオン展示の充実を図る
横浜みなと博物館(旧：横浜マリタイムミュージアム)【神奈川県横浜市】2009.04
横浜マリタイムミュージアムが「横浜みなと博物館」としてリニューアルオープン。常設展示室を全面改装。150年にわたる横浜港の歴史や港の仕組みを学べるように展示内容を充実。新たな展示は「歴史と暮らしのなかの横浜港」がテーマ。横浜港の歴史ゾーンでは、停泊するペリー艦隊の模型の展示や、ニュース映画の上映、港ヨコハマを舞台にした歌謡曲などの芸能文化を紹介。横浜港の再発見ゾーンでは、港内を擬似操縦できる「操船シミュレーター」を導入
兼続お船ミュージアム(長岡市与板歴史民俗資料館)【新潟県長岡市】2010.02
甲冑や戦国時代の女性の着物を試着できるコーナーなどを設けた新しい企画展示室がオープン。同展示室は2009年に、NHK大河ドラマを紹介するパネルなどが展示されていた一室を改装。大河ドラマ「天地人」の放映終了後地域を盛り上げようと実施
長岡市立科学博物館【新潟県長岡市】2010.03
常設展示の一部をリニューアル。所蔵していた火焔土器などを「長岡市馬高縄文館」(2009年9月開館)に移設したことに伴い、考古展示室を廃止して、代わりに野鳥や植物、岩石を並べた自然展示室を新設
小矢部ふるさと博物館【富山県小矢部市】2010.01
名誉市民・大谷米太郎、竹次郎兄弟の功績を紹介する「大谷兄弟記念室」を開設。館内2階の空き室を利用し設置。大谷兄弟の生涯や受け継がれた業績を紹介するパネルや、遺族から寄贈を受けたものなど約70点を展示
となみ散居村ミュージアム【富山県砺波市】2009.06
地域の農村文化を伝える「民具館」を設置。木造2階建て・延床面積約730㎡。出町小学校の旧木造校舎の構造材を活用して整備。切り妻の屋根や、懐かしい教室の雰囲気を残す展示室などが特徴。館内には企画展示室と「農具の展示」「衣・食・住 生活用具の展示」を行う展示室(3室)を配置。砺波郷土資料館で収蔵していた獅子舞の衣装や、受け継がれてきた稲作用農具類などを収蔵・展示
富山市科学博物館【富山県富山市】2009.04
プラネタリウムがリニューアルオープン。最新鋭のビデオプロジェクター2台で、直径18mのドームスクリーンに画像を投影。CGを駆使した映像や臨場感あふれる音響を楽しむことができる。座席の幅は広くなり、席数も242席に増加。また、車椅子用の席や、補聴器利用でも音声聞き取りやすい座席を新たに設置
富山市ファミリーパーク【富山県富山市】2010.03
リスザル舎をリニューアルオープン。新たに「リスザルランチルーム」を設置。50cm立方のアクリルケースを1.8mの通路で展示場と結び、ケース内で食事する様子を間近で観察することができるほか、移動する様子も見られるように工夫
滑川市立博物館【富山県滑川市】2009.10
新展示室として「第2常設展示室」をオープン。第1常設展示室だけでは手狭となり、3階の旧パソコン室を改修して常設展示室を開設。窓を展示壁でふさぎ、空調設備、センサー感知式スポットライト、ガラス展示コーナーを整備。第2常設展示室では、主に収蔵美術品600点の中から約30点を選んで展示している
水見市潮風ギャラリー【富山県水見市】2010.02
2階に「怪物くんの部屋」をオープン。漫画に登場するフランケン、オオカミ男、ドラキュラなどの大型パネルや、その他のキャラクターの小型パネルを展示。1階には「まんが作品ヒストリー」と題したコーナーを設け、元富山新聞社記者だった藤子不二雄(氏)の経歴や過去の作品を年代ごとに紹介
石川県ふれあい昆虫館【石川県白山市】2009.04
1998年の開館以来初となる展示リニューアルを実施。展示する昆虫は約1,200種から約1,400種に、展示する個体数は約2,200点から約2,500点に増加。従来は世界の地域別に昆虫を紹介していたが、リニューアル後はチョウやハチなどを分類別に紹介。生息環境によって異なる昆虫の姿が比較できる。「世界の三大美チョウ」「ギネス級のカブト・クワガタ」などのテーマ展示を新設
石川県輪島漆芸美術館【石川県輪島市】2009.08
2階に「灰野昭郎文庫」を開設。漆工芸史研究の第一人者、故・灰野昭郎の蔵書約5千冊を収蔵。漆関連の専門書を「漆工芸」「技術・産業」「紀要・雑誌」「洋書」などに分類して配架

いしかわ動物園 [石川県能美市] 2009.04・2010.01・2010.03 2009年4月、「トラ・ライオン舎」がオープン。ネコ科の動物を展示する「ネコたちの谷」を改修。トラの展示場では檻の内部に一步踏み出せる見学スペース「タイガーワンステップ」を整備。トラ、ライオンの各展示場では、洞穴を探索しているような感覚で見学できる「ビューイングシュルター」を新設。2010年1月、動物学習センター内に「トキ展示・映像コーナー」を設置。分散飼育のため、佐渡トキ保護センターからトキのつがい2組がやってくるのに合わせて開設。最大85インチの大型画面を4台設置。ケージ内に設けた3台の高性能カメラを通じて、手元のコントローラーで角度や大きさを調節しながらトキの様子を見ることができる。2010年3月には、佐渡トキ保護センターから譲り受けた剥製標本2体と骨格標本、トキのクイズボックスなどを加え、展示物の充実化を図る
金沢 21 世紀美術館 [石川県金沢市] 2010.03 敷地内に新恒久展示作品が完成。開館5周年を記念して、現代美術作家・オラファー・エリアソン氏が作品「カラー・アクティヴィティ・ハウス」を制作。同作品の大きさは高さ3m、直径10mで、色の三原色であるシアン、マゼンタ、イエローに彩色された3つのガラスの壁で構成
のとじま水族館 [石川県七尾市] 2009.04・2009.05 2009年4月、「コツメカワウソ水槽」が完成。川辺を再現したメーン水槽と、円柱状のサブ水槽を空中の「リバー水槽」でつなぐ珍しい形状。頭上を移動するカワウソを見上げるとに観察できるほか、回転遊泳や餌をとる姿などを見ることができる。2009年5月、アザラシ用水槽にアクリル製の「アザラシテーブル」を新設。テーブルに乗って休んだり、餌を食べるアザラシの姿を楽しむことができる。ゴマファアザラシは毛が生え替わる春から初夏にかけて水を嫌うことがあるため、水槽の水位を3.5mから2mに下げ、陸に見立てた高さ2mのテーブルを配置
越前松島水族館 [福井県坂井市] 2009.04・2009.07 2009年4月、開館50周年を記念して、新イルカプール「ブルードルフィンプール」がオープン。ショープールとふれあいプールで構成。ショープールは強力なろ過装置を設置したため透明度が高く、アクリル製の窓からイルカの動きがよく見えるのが特長。ふれあいプールはイルカと触れ合えるよう、底板が下差し、水深を調節することができる。2009年7月には、「海洋館」がオープン。水槽全体が総ガラス張りで水槽の上を歩ける「さんごの海水水槽」を設置。サンゴ礁の水槽をイメージし、ナンヨウハギなど美しい原色の熱帯魚約30種類、計1,500匹を展示。厚さ約10cmのアクリルガラスで覆われ、2階フロアから靴を脱いで水槽に乗ることができる。さらに、「さんごの海 水槽」に隣接して水量約200トンの「海洋大水槽」を整備し、アカシメザメ、イワシの群を新たに展示
鯖江市まなべの館 (旧:鯖江市資料館) [福井県鯖江市] 2010.02 鯖江市資料館が「鯖江市まなべの館」としてリニューアルオープン。鉄筋コンクリート3階建て・延床面積2,090㎡の旧館北側に、鉄骨2階建て・延床面積675㎡の新館を増築。新館1階にはエントランスホールと展示室、同2階には旧鯖江藩関係の資料を集めた「まなべの部屋」や演習室を設置。バリアフリー対策としてエレベーターも設置した。旧館2階には「近松の部屋」、「考古学の部屋」を設置。同3階には地元出身の作家が同市に寄贈した館藏品の一部を常設展示する部屋を設置
福井県児童科学館 (エンゼルランドふくい) [福井県坂井市] 2010.03 1999年の開館以来初となる展示リニュアルを実施。月面探査を疑似体験できる「スペースロボット」や水の持つエネルギーを学べる「ウォーターサーカス」、越前和紙の製作工程を示すパネルなどを新たに設置
福井県陶芸館 [福井県越前町] 2009.04 老朽化に伴う施設改修を機に、越前焼の歴史を伝える「穴窯」の原寸大復元模型などを新設。陶芸教室や窯元による制作実演など、体験・実演のできるスペースも増加。「穴窯」の断面では約150個のつぼが焼かれている様子を見ることができる。建物は展示室の防火や耐震強度を高め、国指定重要文化財の展示も可能となる改修を実施
福井県立恐竜博物館 [福井県勝山市] 2010.01・2010.02・2010.03 2010年1月、地下1階通路を「動く古代天井」としてリニューアル。館内展示のスタート地点にあたる「ダイノストリート」に、海中を泳ぎ回る古代生物のCG映像を長さ13m、幅1.3mにわたって映し出す。2010年2月、対面した200インチの巨大画面にリアルなCG映像を流す「ダイノシアター」をリニューアル。ハイビジョンプレーヤーによる再生と、焼き付けを起こさない投影方式に一新。それまでは片面で16面のマルチスクリーンで構成していたが、片側9面区分に切り替えるなどして、より映像を鮮明に見ることができるよう整備。2010年3月、1階に展示していた草食のフクイサウルスの復元模型ロボットを、肉食のフクイラプトルに交換。さらに3階の講堂には、映画の上映設備を整え、恐竜アニメが鑑賞できるように整備
みなとつるが山車会館 [福井県敦賀市] 2009.12 別館1室を活用して「大谷吉継展示コーナー」を新設。肖像画や関係年譜、市内の各寺院に残る、殺傷や山林の伐採を禁じた吉継の禁制や書状などの古文書類、吉継や石田三成などが描かれた関ヶ原合戦図屏風などを展示。また、江戸時代初期の敦賀の国絵図のほか、当時の敦賀の港町の繁栄を伝える史料の複製も併せて展示
南アルプス市ふるさと文化伝承館 (旧:南アルプス市八田ふるさと文化伝承館) [山梨県南アルプス市] 2009.06 それまで市内の各所に保管されていた文化財をふるさと文化伝承館一か所にまとめ、収蔵・保管・整理・調査だけでなく、展示・教育普及機能を加え、南アルプス市の歴史を学ぶことがのできる施設として公開 (市内に分散していた文化財調査事務所も2008年までに統合)。国指定重要文化財の鐫物師屋遺跡出土品 (櫛形生涯学習センターから同館へ移動)をはじめ、市内の遺跡から出土した土器や石器、昔懐かしい民具などを展示 (2006年度から段階的に改修整備を実施)
山梨県立科学館 (サイエンスシップ) [山梨県甲府市] 2010.03 最新鋭のプラネタリウムを導入するとともに、展示物の更新を行い、リニューアルオープン。次世代型最新鋭プラネタリウム[「プレアデスシステム」(メガスターII A Kaisei+ステラドームプロ+ユニビュー)]を導入。併せて常設展示室には、国内最大級のシャボンカーテン装置「スーパーシャボンカーテン」のほか、零下19度を体験できる部屋「ひええワールド」などを新設
山梨県立文学館 [山梨県甲府市] 2010.02 開館20周年の年にリニューアルオープン。それまで飯田蛇笏を中心に資料を並べていた常設展示コーナーを改装し、「飯田蛇笏・飯田龍太記念室」を開設。龍太ゆかりの資料を増やすなど約100点を展示。また、20周年記念事業の一環として、常設展示室の一角に樋口一葉コーナーを新たに設け、草稿や遺品を展示。一葉や芥川龍之介など、山梨県ゆかりの文学者の展示を充実させた。解説パネルの文字を大きくしたほか、室内の照明を明るくしたり、展示ケースの高さを車椅子の入館者に配慮して設定するなど、設備面の改良も実施

長野市茶臼山動物園 [長野県長野市] 2009.11 新しい獣舎や運動場を整えた「レッサーパンダの森」がオープン。施設の老朽化や飼育数の増加から、レッサーパンダ舎を北口ゲート近くに全面改築。屋外運動場と屋内運動場、寝室で構成。広さは約1,000㎡で従来の6倍に拡張。木登りができる生木を植え、来園者との仕切りには透明の強化ガラスやアクリル板を用いるなど、観察しやすい施設に整備
松本市科学博物館 [長野県松本市] 2009.09 科学展示室の多目的ブースに新たな展示物を設置。「パイプホン (塩ビパイプを使った打楽器)」「太陽電池レーシングカー」「坂道を転がり上がる車輪」「マトリョーミン (テルミン)」を新たに導入
岐阜市科学館 [岐阜県岐阜市] 2010.02・2010.03 体験型展示装置を増設してリニューアルオープン。2010年2月、ボールの転がりを音と光で追う「ボールコースター」、傾いた部屋を体感する「ふしぎな部屋」を新たに設置。2010年3月には、4人乗りの宇宙船に搭乗する装置「宇宙旅行」を設置。第4展示室 (宇宙) に展示していた「スペースシャトル」を更新して整備。それまでの外観を一新し、未来をイメージした4人乗りの宇宙船に搭乗すると、正面の50インチ大型画面に宇宙旅行のメニューが映し出され、タッチパネルでコースを選択することで宇宙旅行が体験できる装置にリニューアル
岐阜城・岐阜城資料館 [岐阜県岐阜市] 2009.07 金華山山頂の岐阜城と資料館がリニューアルオープン。城内では、戦国武将・織田信長をテーマに展示資料の配置を変更、スペースを広く取り見やすく改修。刀剣や忍具、歴代城主の肖像画などを展示。「信長公の間」では信長座像や甲冑などを展示するとともに、陣幕などで装飾して信長座像が待ち構えているシーンの演出を図っている。資料館では、デジタルディスプレイで全国の城郭を紹介するなど、新たな展示を設置
内藤記念くすり博物館 [岐阜県各務原市] 2010.01 展示のリニューアルを実施。薬学の歴史を体系的に学べるように、展示物の入れ替えを行うとともに、展示物を「健康への願い」「医療のあけぼの」など、11のテーマに分けて紹介。展示物の紹介パネルには英語表記を新たに追加。展示館の入口は、森をイメージしたつくりにして幻想的な世界を演出
静岡市立日本平動物園 [静岡県静岡市] 2010.03 動物園再編整備計画 (2008年度からの2カ年事業) の核施設として全天候型の屋内施設「猛獣館299 (にっ・きゅっ・きゅう〜)」がオープン。ホッキョクグマ、ライオン、アムールトラなどの8種類の動物を展示。擬岩や擬木を利用し、動物たちの生息環境を再現することで、いろいろな角度から間近に動物を観察することができる。1・2階の「北極圏ゾーン」では、造雪機で雪を降らせるほか、食物連鎖を理解してもらうため、捕食をテーマにゴマファアザラシを展示。また、北極圏に生息するシロフクロウも展示している。さらに地球温暖化のシンボルとされるホッキョクグマを通じて、環境問題に気付き、感じる場を提供。2階から4階では、開園当初からの展示コンセプトである「比較展示」を取り入れ、強化ガラス越しにネコ科の大型猛獣の生息地や形態、生態系の違いや運動能力を間近に比較しながら観察することができる
ディスカバーパーク焼津天文科学館 [静岡県焼津市] 2010.03 1997年以来、13年ぶりにプラネタリウムの映写装置を更新。ミニコミルタプラネタリウムと連携して開発した最新の全天周デジタル映像投影システム「GEMINISTARⅢ YAIZU」を導入。ハイビジョンテレビの約6倍の解像度により、天の川は約35万個の星で精密に表現。また、5.1chサラウンドシステムを採用するなど、音響面も一新
東海大学海洋科学博物館 [静岡県静岡市] 2009.07 玄関ホールに新コーナー「クマノミ・キッズ」を開設。タッチプール、クマノミの着ぐるみや飼育係の服装で写真撮影できるコーナー、授乳室などを整備。タッチプールでは、同館で生まれたカクレクマノミのほか、クラウンアネモネフィッシュ、アオヒトデなどに触れることができる
浜松科学館 [静岡県浜松市] 2009.12・2010.03 2009年12月、音のコーナーに新展示物「ボイス・トランスフォーマー (声の変身を試す)」「バーチャル・ドラム (打楽器が作り出す音の不思議)」「ミュージック・アニメ (音と映像のシンクロ)」を設置。力のコーナーには「パワーアシストつなひき」を設置。2010年3月、科学学習情報システム (ヘイムズ) を更新。館内の展示物に取り付けられたICタグに、かざすことで音声や画面で解説を行う小型展示案内端末 (エビキタス端末)「U4 (ユーフォー)」、個人の観覧状況などを記録するICカード「ブルー夢カード」を導入。宇宙のコーナーには、新展示物「ムーンスコープ」「月周回衛星「かぐや」模型」を新たに設置
浜松市動物園 [静岡県浜松市] 2009.04 小動物の新獣舎がオープン。獣舎 (149㎡) と運動場 (121㎡) を合わせた面積は270㎡となり、それまでの4倍以上に拡張。カナダカワウソ (現在はコツメカワウソ) の獣舎では、池に替えて水槽を設け、透明のアクリル板越しに観察ができるように整備。レッサーパンダとミニアキャットも、運動場だけでなく獣舎内の様子をアクリル板越しに観察することができる
清洲文化広場・ふれあい郷土館 (清洲城) [愛知県清須市] 2010.03 名古屋へ還都した「清洲越し」から400年が経過するのに合わせて、清洲城の展示内容を一新。1階は、東海地方最大の弥生時代の集落遺跡「朝日遺跡」に始まり、現代までの清須の歴史を大型のパネルや遺物で紹介。2階は、音と映像で再現する清洲城下バーチャルウォークや、人形を使った武士の暮らし再現コーナー、立体模型による城下町の紹介コーナーなどを配置。3階は、織田信長など清須ゆかりの戦国武将の紹介や、衣装、解説パネルなどをそろえたNHK大河ドラマコーナーなどを設置。4階の天主閣には金のシャチホコや瓦のレプリカを展示
新城市鳳来寺山自然科学博物館 [愛知県新城市] 2010.03 館内のバリアフリー化工事に伴い、展示を一新してリニューアルオープン。出入口の階段を迂回する車椅子用のスロープや、障がい者用トイレ、エレベーターを新たに設置するとともに、空調設備の改修を実施。展示では、コノハズクコーナーを全面改修。コノハズクの鳴き声を聞くことができだけでなく、全国でも珍しい、コノハズクが鳴いている時の映像を見ることができ
でんきの科学館 [愛知県名古屋市] 2010.03 3階展示室がリニューアルオープン。見て、触れて、遊んで、学べる体験型展示物を導入。新しい展示物は「電気のフィールド」「電気の道」「新エネの扉」「給電シミュレーター」で、発電所から家庭への電力の流れ、送電線での電気の送られ方、新エネルギーの紹介、給電状況の解説などをゲームを交えて楽しく学ぶことができる

堀美術館〔愛知県名古屋市〕2009.11 改装工事を行い、リニューアルオープン。1、2階の吹き抜けをふさぎ、2階の展示室を拡張。1階には洋画家・三岸節子の専用展示室を新設。最晩年の「さいたさいた桜がさいた」など12点を紹介 南知多ビーチランド〔愛知県美浜町〕2010.03 開園30周年記念事業として「イルカスタジアム」をリニューアルオープン。最前列の手すりを取り除いてイルカとの距離感をなくしたほか、客席前に長さ30m、奥行き2mの「ランディングエリア」を設けることで、イルカが同エリアに上がって演技する様子を見られるように整備 メナード美術館〔愛知県小牧市〕2009.04 美術館創立20周年事業として大規模な改修工事を行い、リニューアルオープン。快適に美術鑑賞ができる美術館をめざして、より多くの作品を展示するため、中庭に新たな展示室を設けたほか、ホールや休憩スペースなどを備えた2階建ての別館（延床面積321.69㎡）を新築 ヨコタ博物館〔愛知県新城市〕2009.07 内外装を一新してリニューアルオープン。施設内外の塗装や仕様を茶色系で統一したほか、ロビーを広く明るい空間に刷新。スポットや間接など室内の照明は落ち着いた雰囲気演出 鳥羽水族館〔三重県鳥羽市〕2009.12 開館50周年を迎えて館内各所の水槽をリニューアル。「伊勢志摩の海・日本の海ゾーン」内に設置した「磯水槽」は、磯を表現した水量約15トンのジオラマ水槽で、磯の波しぶきが15秒に1回の間隔で起き、海藻も実物を展示。そのほか「アロワナと水草水槽」「アリゲーターガー水槽」も整備 滋賀県立近代美術館〔滋賀県大津市〕2010.02 設備改修を行い、リニューアルオープン。2階に子どもを対象にした体験型イベントや各種教室に用いるワークショップルーム（94㎡）を設置。また、ギャラリー展示室のパネルや空調設備を一新 滋賀県立琵琶湖博物館〔滋賀県草津市〕2009.07 水族展示室内で淡水魚を体感することができる「ふれあい体験室」コーナーをリニューアル。琵琶湖流域の魚の種類と成育環境を調べる「琵琶湖お魚ネットワーク」の活動成果を反映。琵琶湖の魚の分布状況を市民などが調査してまとめたパネルを新たに展示し、環境保全の取り組みを紹介。同ネットワークは県内の小中学校や自治会など約140団体が参加。併せて「ふれあい水槽」や「タッチングプール」も再整備を実施 葛城尾崎湖底遺跡資料館〔滋賀県湖北町〕2009.04 展示スペースを3倍に拡張してリニューアルオープン。公民館の1階に設置されている同館は、老朽化した公民館の改修に合わせて展示スペースの拡張を図った。近くの尾上浜遺跡から出土した縄文時代の丸木舟を新たに展示。また、水中考古学者である故・小江慶雄が記した研究資料や著書、出土品引き上げの様子が見られる視聴コーナーも新設 長浜市曳山博物館〔滋賀県長浜市〕2009.09 2階南側に企画展示室を新設して、リニューアルオープン。旧パノラマシアターのスペース約30㎡を活用して同室を開設 京都市動物園〔京都府京都市〕2009.04 京都大学と協力して「類人猿舎」を全面改修。同園と京都大学は野生動物の保全に関する研究と教育で連携協定を結び、第一弾としてチンパンジーの群れ飼育と研究に取り組むために、類人猿舎の全面改修を実施。新しい類人猿舎では、学習室を設けてチンパンジーがコンピュータ画面で数字の順番を覚える様子を公開。また、樹上で活動するチンパンジー本来の行動を引き出せるタワーを新設 琵琶湖疏水記念館〔京都府京都市〕2009.10 開館20周年を迎えて施設改修を行い、リニューアルオープン。空調など設備の改修を図るとともに、展示内容を大幅に充実させた。展示資料の数は2.5倍の約370点に増加。琵琶湖疏水が果たした役割のうち、防火用水、庭園への引水、水車動力への利用について解説する展示スペースを設置。大正初期の岡崎界隈の再現模型は、職上インクラインが稼動していた往時の様子を紹介 大阪・海遊館〔大阪府大阪市〕2009.12 高知県土佐清水市の「大阪海遊館 海洋生物研究所以布利センター」隣接地に建設されていた新大型水槽「第2水槽」が完成。「海遊館」を運営する大阪ウォーターフロント開発株式会社（現在の株式会社海遊館）が、ジンベイザメやオニイトマキエイ（マンタ）などの飼育や調査研究のために用いる。新水槽は満水時の水量約3,300トン。メーン的水槽（縦約19m、横約31m、水深約5m）に加え、捕獲や調査に使う水槽（縦横約8m、水深約5m）を整備。水槽のほかには観察室なども設置 大阪科学技術館〔大阪府大阪市〕2009.07 展示の改装を行い、リニューアルオープン。「科学技術でひらこう、地球のあした」をテーマに展示を更新。ごみを燃やす発電プラントを解説するパネルや、軟らかい地盤が高層建築に与える影響を実感できるクレーンゲームなど、各ブースを新しい展示に刷新（全面改装7ブース、部分改装8ブース）。同館は2年間隔で展示の改装を実施 国立民族学博物館〔大阪府吹田市〕2010.03 通文化展示の音楽展示・言語展示と共同利用展示場、情報展示場の一部（ナビひろば）がリニューアルオープン。2008年度から始まった常設展示場改編の第2年次として実施。音楽展示では、音や音楽が人間の存在にどのように関わっているかを世界各地の映像とともに紹介。言語展示では、ことばの世界の楽しさや世界のことばの多様性をインタラクティブな装置を通して見せている。新しくできたナビひろばは、同館の広い展示場をまわるためのベースステーションとして整備。見学のガイドとなる情報を見たり、ミニ講演会やギャラリートークを通じて、スタッフと来館者や来館者同士の交流の場として設置された。同時に国内外の大学研究者の力を結集して、最新の研究成果を展示に迅速に反映するための共同利用展示場も整備 造幣博物館〔大阪府大阪市〕2009.04 開館40周年を迎えてリニューアルを実施。最新の展示技術を駆使して貨幣の美しさを引き出し、来館者が貨幣の魅力を堪能することができるギャラリー空間を整備。歴代貨幣を紹介するコーナーでは、ガラスケースを垂直に据え置き、貨幣の表裏両面が見えるように展示。ケース内部からLEDで照らし、貨幣を立体的に見えるように工夫。また、模型と映像を組み合わせ、来館者が音や照明の演出を楽しむことができる展示を整備。そのほか、開放的な吹き抜け空間の新設や、身体障がい者・高齢者・子ども・外国人（英語・中国語・韓国語）による音声ガイド）に対応する展示の実現を図った	川西市郷土館〔兵庫県川西市〕2010.02 敷地内に故・平通武男画伯のアトリエが完成。木造平屋で兵庫県産の杉やヒノキを使い、屋根はオレンジ色のスペイン瓦を使用。北側の大きな出窓は、アトリエ内でモデルの影が終日一定になるように設計。作品や画材、モデルが座った椅子などを展示 神戸市立王子動物園〔兵庫県神戸市〕2009.12 キリン舎運動場の北側に観覧施設「きりんテラス」を新設。来園者は階段で木製デッキへ上がり、地上約5mのキリンの顔と同じ高さで観覧することができる。ガラス越しに、キリンが葉っぱを絡め取って食べる様子などを観察。階段以外にスロープも設置して、車椅子やベビーカーの利用者にも優しい施設として整備されている 神戸市立須磨海浜水族園〔兵庫県神戸市〕2009.09 「アザラシ・ペンギン館」に「ふれあい広場」が完成してリニューアルオープン。アザラシ・ペンギン館は、老朽化した旧・森の水槽南館を改修（2008年から整備を開始）。ペンギンの新居には日本で初めて草地の通路を設けた。広場では、陸に上がったゴマフアザラシやマゼランペンギンなどを観察することができ、飼育員による餌付けの観察やペンギン撮影会などの人気イベントを実施する。ペンギンの新居は約100㎡で、50トンのプールを併設。7個の巣箱を備え、回りを取り囲む散歩道は本物の草地通路を整備。暑さ対策のためスプリングラーも設置。動物に対する環境エンリッチメントの立場から、ペンギンにとってより自然に近く、脚にやさしい対策を講じている 神戸市立青少年科学館〔兵庫県神戸市〕2010.03 3階第5展示室「生命の科学」に新たな展示物「りけんキッズラボ」を設置。細胞の不思議、生物の発生の不思議、幹細胞などについて紹介。タッチパネルに触れると細胞が分裂していく様子や、プラナリアの再生力を観察することができる 阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター〔兵庫県神戸市〕2010.01・2010.03 2010年1月、阪神淡路大震災から15年となるのを機に展示リニューアルを実施。東館3階（旧：ひと未来館）に新たに「水と減災について学ぶフロア」を開設。風水害に関する展示を設け、地震以外の自然災害への理解を深められるように整備。150インチの大型スクリーン2面（上下二段）に、2009年夏の台風9号の豪雨や、死者616人を数えた阪神大水害（1938年）などの実写映像を映し、来館者が風水害の脅威を実感できるほか、展示室内にはプナの森を再現。映像で水の大切さを学ぶコーナーも新設。2010年3月には、東館1階に「チャイニーズレストラン 新上海」、防災グッズを取り揃えたミュージアムショップがオープン 姫路科学館 アトムの館〔兵庫県姫路市〕2009.08 大規模改修工事を終えてリニューアルオープン。新しい常設展示ば「地球と郷土の自然」「身のまわりの科学」「私たちの宇宙」の3つのテーマで構成。風速20mの風を感じることができ「風体験スタジオ」や古生代の様子を再現したジオラマ模型など、オリジナルの展示を開発。今回の改装で常設展示の7割以上をオリジナルの展示に変更した。実験や体験、本物を重視し、一人ひとりが条件を変えて実際に現象を調べることができる装置や、化石・標本など多くの実物資料が並ぶ。それまで75種だった展示アイテムは109種まで増加。「私たちの宇宙」をテーマとするフロアでは、天体の周りをめぐる物体の運動を学べるゲーム感覚の装置などを新設。就学前の子ども向けの「ディスカバーコーナー」では、風の力でボールが浮き上がる装置などを設置。「地球と郷土の自然」のフロアには、地球の歴史を恐竜化石などで振り返る「タイムトンネル」を整備。エントランスホールを含む内装などの館内設備も一新 興福寺国宝館〔奈良県奈良市〕2010.03 1959年の開館以来初となる施設の全面改修を実施。阿修羅などの八部衆像（国宝）をはじめ、多くの仏像を間近で拝観できるように、ガラスケースを外した露出展示を実現。仏像の表情が浮き出るように照明も一新。今回のリニューアルを機に、それまでは奈良国立博物館に預けられていた2体が戻り、八部衆像が揃って常設展示された。須弥壇を想定した高さに並べられ、中央には阿修羅像が配置された。館内は「中金堂・鎮壇具」「西金堂の鎌倉彫刻」など、5つのテーマ別コーナーに分かれ、ミュージアムショップも一新された アドベンチャーワールド〔和歌山県白浜町〕2009.12 人工保育中の動物の赤ちゃんや小動物の治療を間近に見られる総ガラス張りの施設「ワイルドアニマルブリーディングセンター」を開設。パンダ舎の裏手にあった休憩所を改修。診療室、保育室、育児室を設置。診療室には受精卵や精子を凍結して保存する設備も整備 熊野古道館〔和歌山県田辺市〕2010.03 展示や施設機能を一新して、リニューアルオープン。世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」を初めて訪ねる人にもわかりやすい施設に改装。世界遺産の玄関口として熊野古道全体の情報発信に重点を置いた整備を実施。「紀伊山地の霊場と参詣道」の概要説明をはじめ、各古道の詳細なルート、101カ所の王子の地点や名称などを縦4m、横3.2mの広域地図などで紹介。さらに、古道歩きを楽しむ人のために更衣室、コインロッカー、水の補給施設、携帯電話充電設備を新設 わかさ美術館 昭和懐かし館〔鳥取県若桜町〕2009.09 美術館1階を昭和の生活が感じられる内容にリニューアル。ブリキのおもちゃを収蔵する私設の同館は、昭和時代のおもちゃなどを幅広く取り揃え「昭和懐かし館」と命名。駄菓子屋、ちゃぶ台のある風景、小学校の教室を再現した3部屋を新たに開設 島根県立三瓶自然館（サヒメル）〔島根県大田市〕2010.03 プラネタリウムをリニューアルオープン。中国地方初のハイブリッド式投影システムを導入。ドームスクリーンに映し出される星の数は、従来の20倍以上の36万5千個。星の像が鮮明で、双眼鏡で見て楽しむことができる。導入機種はコニカミノルタ「ジェミニスターIII」の特別仕様「改良型インフイニウムβ」と「スーパーメディアグロブII」の統合型） 池田動物園〔岡山県岡山市〕2009.10 ペンギン舎をリニューアルオープン。獣舎の中に幅60cm、長さ約21mの通路“散歩道”を設置。ペンギン舎を開いていた格子状のフェンスの一部を透明なアクリルに換え、より見やすい施設に改修。通路には足裏のマッサージ効果を高める丸い小石を埋め込み、ペンギンの運動不足解消との相乗効果に期待 岡山県立美術館〔岡山県岡山市〕2009.04 2010年の国民文化祭に備えて修繕工事を行い、リニューアルオープン。1988年の開館以来初の大規模修繕を実施。案内表示を見やすいデザインに統一したほか、展示室へ向かう階段は段差に線を引き、わかりやすく表示。手すりは持ちやすく改良。休憩コーナーやオストメイトに対応したトイレも設置。地下展示室の床にはインターネット配線を18ヵ所施し、最新のデジタルアートに対応できるように整備
---	---

● 2010 年度リニューアル博物館（2010 年 4 月～2011 年 3 月）

旭川市旭山動物園 [北海道旭川市] 2010.04
「もうきん舎」（現在は「シマフクロウ舎」）が完成。約 150 m ² の敷地を高さ約 9m のドーム型のケージで覆い、内部に擬木や人工池などを設けた。人工池に隣接する形で観察ドームも設置。ガラス窓を通して池の中をのぞくこともできる。池にニジマスなどを放し、魚を捕らえる姿を来園者に見てもらおうという狙い
有島記念館 [北海道ニセコ町] 2010.07
約 30 年ぶりに常設展示を一新。同館はこれまで有島の相互扶助思想などの資料を中心に展示してきたが、文学者としての側面を映像を用いて印象付ける展示を採用。「或る女」「カインの末裔」など文学 4 作品に登場する場所や風景の映像と文章の一節を、計 5 台のスクリーンとテレビを用いて紹介
江差追分会館 [北海道江差町] 2010.04
江差追分会館に隣接して観光施設「江差山車会館」がオープン。360 年以上続く北海道遺産の祭り 姥神大神宮渡御祭」を紹介。渡御祭で町内を回るヤマと呼ばれる山車を展示。全部で 13 台あるうちの 2 台を 1 年交代で公開する。武者人形やのぼりで飾られた高さ約 4 ～ 7m の山車のほか、映像やパネルなども設置し、祭りの雰囲気に触れることができる
小樽商科大学史料展示室 [北海道小樽市] 2010.08
附属図書館 3 階に「小樽商科大学史料展示室」をオープン。創立 100 周年を迎えるにあたり、3 号館（講義棟の教室）に開設していた旧史料展示室を移転整備。施設は従来の約 2 倍に拡充。小樽高等商業学校の開学以前の誘致活動期からの記録・歴史的文書・写真のほか、小林多喜二・伊藤整の活動記録・著書、戦時関係資料などを公開
帯広市動物園（おびひろ動物園）[北海道帯広市] 2010.04
ボランティア活動拠点「動物園センター」がオープン。同施設は市民団体「おびひろ動物園協会」が寄贈。正門南東の旧管理事務跡地に建設され、研修・展示室やボランティアルーム、授乳室、多目的トイレなどを備える。動物園に携わるボランティア団体の活動の場とするほか、職員の研修や各種展示に活用
帯広百年記念館 [北海道帯広市] 2011.01
帯広百年記念館内にあるアイヌ民族文化情報センター「リウカ」がリニューアルオープン。広さが従来の約 2 倍となり、よりゆったりとしたスペースでアイヌ民族に関する書籍や映像資料などを閲覧することができる。記念館 2 階に開設されていたが、広さ約 60 m ² と手狭だったことから、1 階ロビーに面した 140 m ² の部屋を改装して移転。専門書から絵本までアイヌ民族に関する書籍約 800 冊と、踊りや儀式を収録したビデオや CD 約 100 点を揃えている
札幌ウィンタースポーツミュージアム [北海道札幌市] 2011.02
開館から 10 年が過ぎ、老朽化などが目立ってきたためリニューアルを実施。目玉のジャンプ体験装置は、大型ディスプレイの前のスキー板に乗ると、センサーが反応し、踏み切るタイミングに応じて飛距離が出る最新型に変更。新たにアイスホッケーやボブスレーなど 7 種目の競技を楽しむディスプレイも設置。また、約 3 万点の収蔵品を随時紹介する企画展示コーナーも新設
札幌市青少年科学館 [北海道札幌市] 2011.03
環境コーナーをリニューアルオープン。二酸化炭素（CO ₂ ）の特性や、太陽光などの自然エネルギーについて学ぶことができる。地球温暖化の一因とされる CO ₂ のコーナーでは、重さの違うボールの中から CO ₂ のボールを探したり、CO ₂ による温度変化を観察したりすることができる。自然エネルギーコーナーでは、環境クイズやペダルを漕いで太陽光発電を行う装置などを設置
札幌市円山動物園 [北海道札幌市] 2010.04・2010.09
2010 年 4 月、新施設「エゾヒグマ館」がオープン。屋外の展示空間で、餌を探したり木に登ったり、北海道に生息するエゾヒグマが生き生きと活動する様子を間近で観察できる。建物は鉄筋コンクリート造り平屋建、約 677 m ² 。展示空間は北海道の自然の状態に近づけた。シラカバやモンタナマツなど 12 種類の植物を植え、高低差 5m ある丘や深さ 1m ほどの池を配置。囲いの一部は透明なアクリル板にし、クマが水に入ってはしゃぐ様子や、木の穴から手を入れて餌をかき出す行動を目の前で見ることができる。2010 年 9 月、猛禽類野生復帰施設の運用を開始。猛禽類が衰弱した場合のリハビリや、繁殖した鳥が自力でエサを食べられるように訓練するトレーニングケージと、道内に生息する猛禽類の繁殖を目的にした繁殖棟に分かれている
市立小樽美術館 [北海道小樽市] 2011.01
入居する建物の再整備工事に伴いリニューアルオープン。ギャラリーは 3 階から 1 階へ移動。研修室を改修し、ミーティングルームを新設。1 月から利用が始まったギャラリーは、「多目的ギャラリー」に加え、「市民ギャラリー」2 室がある。3 室をつなげることもでき、フリーマーケットやミニコンサートなど幅広い文化的活動に使用可能。大規模改修を進めている市立文学館・美術館のうち、美術館の多目的ギャラリーなどが完成
市立室蘭水族館 [北海道室蘭市] 2010.04
増設した「ペンギン小屋」が完成。木造モルタルの小屋（縦約 2.6m、横約 3.5m）で、生態観察の学習体験に活かしてもらえよう工夫をこらした。フンボルトペンギンは「生まれてから 1 年程度で、一夫一婦制のつがいとなる」ことなどから、生態を考慮した 90 cm 四方の部屋を 6 つ設置。またエサを食べる様子など室内が観察できるガラス窓を設置。新展示コーナー「クラゲ館」を設置。本館 1 階に設置された同コーナーでは、同館で人工ふ化したミズクラゲなど 5 種類を展示
函館公園動物施設 [北海道函館市] 2010.04
函館公園内の動物施設が大規模改修を初めて行いリニューアルオープン。施設の老朽化のため、2008 年から閉鎖され改修工事を実施。来園者の利便性や見やすさを意識し、スロープを設置してバリアフリーに対応。獣舎内で飼育される 31 種の動物の飼育環境にも配慮。また、函館公園全体を管理するビジターセンターも新築。地上 3 階建てで、延べ床面積は 435 m ² 。3 階にはエントランスや研修室、2 階には管理室など、1 階は鳥やリスなどを飼育する動物ケージを設置

三笠市立博物館 [北海道三笠市] 2010.08
ユニークな外観の多機能研修施設がオープン。特別展や体験学習を行うことができる多目的ホール（約 150 m ² ）を設置 ※2009年度から2010年度までの2カ年度にわたって「博物館機能拡充整備事業」を実施。古生物・地質展示室を整備後、2011年4月29日にリニューアルオープン
余市宇宙記念館（スペース童夢）[北海道余市町] 2010.04
日本が開発した国際宇宙ステーションの実験棟「きぼう」をイメージした施設を新設。宇宙の「衣・食・住」に触れることができる。「きぼう」から眺めた約 5 分間の北海道から九州までの映像や、同市出身の宇宙飛行士・毛利衛氏のメッセージ映像を放映。また、衛生から撮影した北海道の写真など、環境関係の展示を充実
エネルギー館 あしたをおもう森（旧：エネルギー館 キャプテン・ジーオ） [青森県青森市] 2010.11
青森県観光物産館アスパム内に常設するエネルギー館「キャプテン・ジーオ」が「あしたをおもう森」にリニューアル。同館は 1986 年のオープン以降、2 度（1993 年、1998 年）全面改装されたが、東北新幹線全線開業などにあわせる形で 3 度目の改装を行った。「あしたをおもう森」と題した新たな展示は、主に小学校高学年が対象。約 600 m ² の会場に「空」「海」「大地」など 6 つのコーナーを設けて、森の動物など 12 のキャラクターがパネルやモニター画面に登場する。地球温暖化による世界の海の環境変化などを動物の目を通して学び、地球環境の保護やエネルギー資源の有効活用を来館者に考えてもらう。改装後は、専用シートに身を委ね、鳥になった気分を味わえる「フライングシアター」や、円形テーブルに映し出された海の変化を探る「オーシャンテーブル」など、体験・体感型のコーナーが充実。エネルギー資源の大切さ、地球環境の在り方考える構成になっている
大湊地方総監部北洋館 [青森県むつ市] 2010.04
入館方法を変更してリニューアルオープン。従来は基地正門での入館手続きが必要だったが、北洋館専用の門や駐車場を設置することで手続きなしで見学可能となった。また、展示内容もより見やすくなるよう見直しを図る
縄文時遊館 [青森県青森市] 2010.07
新展示室「さんまるミュージアム」がオープン。国の重要文化財などを集め、貴重な出土品を間近に見ることができる。時遊館 1 階の体験コーナー「縄文ギャラリー」を増改築した。延床面積は 875 m ² で、それまで使用していたプレハブの展示室のほぼ倍の広さに拡張。新展示室は「縄文人の生きる姿」をテーマに、当時の人々の生活の様子を再現するなど、三内丸山遺跡を総合的、体系的に紹介。それまでのプレハブ展示室では基準が満たされず収蔵できなかった、国重要文化財の出土品も展示可能となった
八戸市博物館 [青森県八戸市] 2011.01
約 10 年ぶりに展示内容の一部をリニューアル。民俗展示室の一角に、昭和 30 ～ 40 年代の家屋内を再現した空間を新設。昭和の家展示は、子どもたちに親たちが育った時代の暮らしを伝えようとした。所には手動の脱水器がついた洗濯機や水で中を冷やす冷蔵庫、3 畳の居間兼寝室にはちゃぶ台などが置かれた。来館者が気軽に腰を掛けられるよう縁側も設置。考古展示室には南部氏の系図パネルなどを新設し、南部家文書影写本を数年ぶりに展示した。また、歴史展示室も一部で配置換えを行うなど内容を充実させた
岩手県立児童館 いわて子どもの森 [岩手県一戸町] 2010.04
同館の中核施設、ゴーゴーハウスとハローハウスがリニューアルオープン。廊下でつながる 2 つのハウスは延床面積計約 6,800 m ² で、合わせて 10 か所のコーナー。このうち、おもちゃ湯や絵本の部屋「ヨムヨム」など 4 か所をメルヘン調や南国風の空間に改装。特に子どもシアター「ばけっと」には 100 インチの大型スクリーンが設置され、短編アニメなどを上映
久慈琥珀博物館 [岩手県久慈市] 2010.04
人の動きに反応して映像が変化するディスプレイシステム「まじかるワーク」を導入。このほか、新たに階段や壁面に地層の写真を張り、1 階から 2 階に進むと、地中から地上に出るイメージとなった。また、久慈地域で発見された太古のカマキリや恐竜の骨など 6 点を展示。大型モニターに映し出すこともでき、より詳細に見られる
遠野市立博物館 [岩手県遠野市] 2010.04
「遠野物語」発刊 100 周年記念事業の一環として進めてきた改修が終了してリニューアルオープン。展示スペースを約 1,000 m ² と大幅に拡充。第 1（シアター 遠野物語の世界）、第 2（遠野 人・風土・文化）、第 3（企画展示室）の 3 つの展示室を設置。マルチシアターを設けるなど施設内各所に映像設備を整備し、幅広い年齢層が楽しみながら同市の歴史・文化に触れることができる施設に一新
仙台市博物館 [宮城県仙台市] 2010.04
1986 年に全面改修して以来のリニューアルを実施。2009 年 8 月から臨時休館して改修を進めた。3 つあった展示室を総合展示室と特集展示室の 2 つに改修し、鑑賞の流れが途切れないように工夫したほか、密閉性の高い展示ケースを採用、従来展示できなかった漆器なども見ることができるようになった。総合展示室には、仙台城と城下町のゾーンを設け、2 つをつなぐ「仙台しる・まち情報広場」には大型の年表とタッチモニター式パソコンを配置し、歴史の流れが把握できるように整備。省エネと資料保存に有効な LED 照明も導入。伊達政宗の時代を中心とした近世に特化し、仙台藩と城下町を総合的に紹介
仙台市八木山動物公園 [宮城県仙台市] 2010.04
野生動物の生態や環境問題を学習できる多目的施設「ビジターセンター」がオープン。南門出入口付近に建設。木造 2 階で延床面積 1,884 m ² 。1 階には展示スペース、研修室、グッズ販売店、入園券販売所が、2 階には動物公園の管理事務所が入る。1 階展示スペースでは、ホッキョクグマの剥製を置くほか、絶滅の危機にあるシジュウカラガンを放鳥している同園の取り組みを紹介。また展示スペース前には雨よけ用のひさしを設置し、雨宿り場所としても活用
TDK 歴史館 [秋田県にかほ市] 2010.11
歴史館設立 5 周年を迎え、一部のコーナーを新設。「フレイライト体験コーナー」や「企画展示コーナー」を新しく設置し、より深くエレクトロニクスの世界を体験できるように工夫した

鶴岡市立加茂水族館〔山形県鶴岡市〕2011.03 クラゲ展示施設の大規模改修を実施。地下の空きスペースを改修。100㎡のクラゲ展示施設「クラネトリウム」を2倍の200㎡に拡大。水槽を従来の35から44に増やし、34種のクラゲを展示。新設の液晶タッチパネルでは、庄内地方のクラゲや毒のあるクラゲ、国内外のクラゲをタッチ検索で調べることができる。これまで一般の人は入れなかったクラゲ増殖施設「鶴岡市クラゲ研究所」の一部をコーナーとして開設。約2ヵ月をかけてミズクラゲを幼生から育てる様子を目の当たりにすることができる。水族館が「山形大学理学部の半澤直人教授とともに交流を続けている南太平洋のパオ産のタコクラゲなどを展示するパオコーナーも拡充。本リニューアルは、新水族館整備に向けて、より広い施設で職員の展示解説技術の向上を図ることも目的に据えて実施した ※現在、新館建設中（新加茂水族館の開館は2014年6月1日）
いわき市石炭・化石館〔福島県いわき市〕2010.04 「館内の雰囲気を一新」と「ユニバーサルデザインの推進」を柱にリニューアル。1階の化石展示室は大型骨格標本を中心とした展示で、音や照明を活用した動きのある演出を行い、迫力ある化石を見やすく展示。2階の学習・標本展示室に整備した学習コーナーは学校の教室をイメージした空間となっている。学習・標本展示室は、いわきで産出された化石・鉱物・石炭などを中心とした展示に改装。模擬坑道では炭鉱関連の資料を集約して展示の充実を図った。映像ルームを新設して、いわきの炭鉱の歴史や日本の炭鉱、炭鉱の仕事など炭鉱に関する貴重な資料映像を放映。1階と2階の展示室をつなぐエレベーターも設置
ふくしま海洋科学館（アクアマリンふくしま）〔福島県いわき市〕2010.04・2010.07 2010年4月、小名浜漁港魚市場に「アクアマリンうおのぞき 子どもの博物館」をオープン。子どもたちに伝統的漁業技術や文化を受け継ぎ、将来の漁業資源の利用継続と漁業振興することを目的とした展示やプログラムを追加。展示ブースは「うおのぞき」、「子ども漁業博物館」、「いけす見学窓」、「伝馬船工房」、「番屋」で構成。（小名浜漁港再開発計画に伴い、2012年12月28日より本館に近い「小名浜潮目交流館」内に移転オープン）2010年7月、アクアマリンえっぐに隣接して「えっぐの森」がオープン。えっぐの森は、「豊かな山が、豊かな海を育む」という考えの下に造られた、自然の緑を体験できる約2,000㎡のフィールドワークスペース。森の豊かな栄養が川を通して海に運ばれ、海の生き物が育まれるという命のつながりを感じてもらうために、アクアマリンえっぐに隣接して設置。人と自然との関わりなど、環境教育の実践の場として利用
原子力科学館〔茨城県東海村〕2010.04 展示物の改装を終え、リニューアルオープン。「がっちり」「じっくり」の2つのゾーンで構成され、原子力の基礎や放射線利用、安全を紹介。展示物の改装は2008年度から2年間の計画で進められ、展示品の全面改装が完了
つくばエキスポセンター〔茨城県つくば市〕2010.09 1階「科学万博-つくば'85メモリアル」ゾーンをリニューアル。万博開催25周年を記念して、新たに当時の科学技術・産業技術の成果を伝えるコーナーと、科学万博の記念品・関連グッズ・資料の展示コーナーを追加。「今を築いた日本の先端科学技術-1980年代を振り返って」（新設コーナー）では、1980年代の日本の科学技術・産業技術の代表的成果を選び、当時の成果物等を「電気・通信」「材料」「輸送」「医療・バイオテクノロジー」「エレクトロニクス」の5つの分野に分けて展示。「科学万博-つくば'85メモリアルコーナー」（拡充コーナー）では、科学万博の思い出深い当時の資料や写真、各パビリオンのグッズを展示
おもちゃのまちバンダイミュージアム〔栃木県壬生町〕2010.04 常設展示のリニューアルを実施。玩具の歴史を学べる博物館を目指そうと、展示品を年代別に並べ直したほか、わかりやすい解説を添えた。3万点のコレクションから見て学べるおもちゃ約5千点を厳選して展示
伊勢崎市赤堀歴史民俗資料館〔群馬県伊勢崎市〕2010.04 2階展示室で紹介している養蚕資料をリニューアル。これまで展示してきた蚕具類に、養蚕の隆盛ぶりを伝える明治初期の技術書や日記、近現代の図書などを加えることで、展示内容の充実を図った
群馬県立歴史博物館〔群馬県高崎市〕2010.04 改修工事を終えてリニューアルオープン。天井の耐震化を図るとともに、照明も展示に合わせた演出ができるようにしたほか、カーベットや固定展示ケースのクロスの張り替えも行った。また、「子どもにやさしい博物館」をコンセプトに常設展示室を展示替え。「めくりんパネル」や「土器パズル」、「昭和のくらしコーナー」、「中島飛行機」の展示コーナーなどを新設
向井千秋記念子ども科学館〔群馬県館林市〕2010.04 新たな展示物が加わり、リニューアルオープン。常設展示物として同館1階の第2展示室に、自転車型の「人力発電装置」など3点を新設。「人力発電」は自転車のペダルを30秒間こぎ続け、どれだけの電気を発生させられるかを知ることができる。ほかに加わったのは、体の半分を映すと宙に浮いているように見える「身体が宙に浮く鏡」、体形が変化して見えたり、動作が反対に映らない「ふしぎな鏡」の2点。いずれも同館1階の第2展示室に設置
鉄道博物館〔埼玉県さいたま市〕2010.04 JR高崎線沿線の映像が流れる新たな体験型運転シミュレーターが導入。シミュレーターは、中央線や京浜東北線などに導入されているE233系の運転台を再現。画面には高崎線大宮―龍原間の実写映像が流れる。実際の走行車両にカメラを設置して撮影したため、運転士の目線に近い感覚を味わうことができる。実際にJR東日本の運転士を養成するための訓練設備を基本に整備しているのが特徴
東武動物公園〔埼玉県宮代町〕2011.03 開園30周年を記念して「ふれあい動物村」を大幅にリニューアルし、「ふれあい動物の森」としてオープン。人気のアルパカのほか、ワオキツネザルやワラビーも間近で見られる。ウサギやモルモットをだっこできる施設は全天候型にした。アニマルショーなどができる森のステージやショップも新設

鴨川シーワールド〔千葉県鴨川市〕2010.07 クラゲ展示コーナーを改装し、「Jewelly Corner ～海の宝石・クラゲ～」としてリニューアルオープン。2009年7月に特別展としてオープン後、来館者の人気を獲得しながら常設展として充実させたもので、展示コーナーとしてブース化するとともに、水槽の数や大きさもそれまで以上に變更
国立歴史民俗博物館〔千葉県佐倉市〕2010.11 総合展示のプロローグ部分の改修が各展示室の特徴を反映するかたちで進められ、タイムトンネルをモチーフにした展示が完成。総合展示プロローグは、開館以来使用してきた映像機材の老朽化が著しいことや、第6展示室（現代）の開室に伴い、総合展示で日本の歴史・文化を原始・古代から現代まで通して展示することから、全面改修を行うことになった
気象科学館〔東京都千代田区〕2010.05 「緊急地震速報トライアル」、「ひょうとして大雨キューブ」、「防災ポイントウォッチャー」、「しっている?天気予報が届くまで」などの参加型体験コーナーを新設。「ゲリラ豪雨」と呼ばれる局地的大雨や緊急地震速報などをテーマに新しい展示を導入。防災情報を活用して災害から身を守る知識の普及を目的としている
江東区中川船番所資料館〔東京都江東区〕2010.11 資料館の2階を「郷土の歴史・文化紹介展示室」に改装。小・中学生に授業の一環として見学してもらうと、区の歴史や郷土への関心を深めてもらうのが狙い。地元の人たちが昭和30～40年代に使っていたテレビや冷蔵庫、ちゃぶ台などを畳や板の間に置いて茶の間を再現した「昔の生活」コーナーなどを設置。伝統芸能コーナーでは「木場の角乗」を紹介。実際に使われる幅30cmの角材に乗ったり、はんでんを着て記念撮影することもできる
世田谷区立教育センタープラネトリウム〔東京都世田谷区〕2010.05 区立教育センター内にあるプラネトリウムがリニューアルオープン。最新鋭の光学式投影機で1億4千万個の星を見ることができる。投影機などの主要な設備が劣化したため、2009年10月から改修工事を実施。新しく設置された光学式投影機は、改修前の8,500個を上回る1億4千万個の恒星を投影し、より本物に近い星空を再現できる。デジタル式投影機2台も併設され、ドーム全体に動画を映し出すことができる。デジタル映像システムと組み合わせることにより、宇宙から見た地球や、世田谷区内の全小・中学校の校庭から見た太陽の動きを学ぶこともできる。ドームは直径16mの半球。改修前より30席減って140席となったが、席の幅を広げ、背もたれを調整できるように整備した
東京国立博物館〔東京都台東区〕2011.01 本館（日本ギャラリー）がリニューアルオープン。漆工芸品や金工、刀剣、陶磁の名品が並ぶ本館1階工芸展示室（12・13室）を改装。展示構成やケースを工夫することで、工芸作品を四方から鑑賞できるようにしている。併せて、収蔵品と寄託作品を中心とした展示は「平常展」から「総合文化展」という名称に変更。館内の案内サインもリニューアル。各展示室の冒頭に掲示する解説は外国人観光客の増加に対応するため、従来の日本語と英語に中国語と韓国語を加え、4カ国語表記とした。本館の大規模リニューアルは、展示を分野別から時代別に変えた2003年、テーマ展示を加えた2004年に続いて3度目
東京都多摩動物公園〔東京都日野市〕2010.04 アフリカ園にライオン舎を一望できる展望デッキがオープン。展望デッキはライオン舎の近くにあるサファリ橋の横の植え込みを造成して新設。ライオンとチーターの等身大レプリカや双眼鏡、ライオンの生態が書かれたパネルも設置
東京都水の科学館〔東京都江東区〕2010.06 科学館が全面リニューアル。映像シアターや水遊びができるコーナーなどを新たに設置。「水のたシアター」は、森に降った雨が家の蛇口にとどり着くまでのプロセスをCGで再現。水滴になったつもりで川の中や水道管の内部を流れていく、スピード感のある映像を楽しむことができる。大きなシャボン玉の中に入ることができたり、ゲームや手軽な実験を通じて水について学べるコーナーも整備。水源に欠かせない森の役割にもスポットを当てている
東京都立大島公園〔東京都大島町〕2011.01 椿資料館がリニューアルオープン。新しい資料館は、今までの意匠を踏襲するとともに、黒潮小屋（昭和13年3月23日棟上式）時代に使っていた材料を出来るだけ用いて改修
練馬区立牧野記念庭園〔東京都練馬区〕2010.08 庭園内の記念館などをリニューアルオープン。練馬区立牧野記念庭園記念館は、開館後50年を経過し老朽化したため、1年余りの改修工事を実施。庭園内の草木はそのままに、常設・企画展示室や講習室を新築してバリアフリー化を図るなど、施設の充実化に取り組んだ。牧野博士の鞘室内の書斎に新たに消化設備を設けて、書屋展示室として公開。常設展示室では、博士が研究に使用した顕微鏡や植物標本、植物図などを展示。新たに設けられた企画展示室では、植物に関連した企画展を随時開催
FUJIFILM SQUARE〔東京都港区〕2010.06 FUJIFILM SQUARE（フジフィルム スクエア）内の写真歴史博物館がリニューアルオープン。場所を2階から1階に移し、展示内容、外観ともに、明るい雰囲気一新。富士フィルムのコレクションを中心とした貴重なアンティークカメラや、富士フィルムの歴代カメラの展示に加え、約170年にわたる写真文化の変遷をわかりやすく展示。実際に触れて楽しめる展示も設置
町田市立自由民権資料館〔東京都町田市〕2010.04 常設展示をリニューアルオープン。従来、多摩地域の民権運動を扱っていたが、武相地域全体の動向から自由民権運動の広がりについて理解を深めてもらおうと、10年ぶりに常設展示をリニューアル。展示のタイトルも「多摩の民権／町田の民権」から「武相の民権／町田の民権」に改め、武相地域（多摩を含めた当時の神奈川県域）を視野に入れた展示に改装。「黒船来航」「結社の時代」など21のコーナーで運動の変遷をたどる。写真や図解を多用してわかりやすく伝える工夫を図るとともに、文献の読み下しパネルを添えるなど、小中学生にも理解しやすい構成にした
リスーピア〔東京都江東区〕2011.03 3階に新展示「エネルギー・コンバージョン・ボール」が登場。新展示では、力学的エネルギーについて体験的に学ぶことができる

京急油壺マリンパーク【神奈川県三浦市】2010.07
新施設「かわうその森」がオープン。日本で絶滅した可能性が高いカワウソが再び日本で暮らせるように願い、森内には神奈川県産の希少生物を繁殖させ、種の保存を目的に飼育展示する施設
新江ノ島水族館【神奈川県藤沢市】2010.04
「相模の海ゾーン」をリニューアルオープン。ゾーン入口に、相模の海から新しい命が誕生する様子をイメージした「命のモニュメント」を設置。同館独自の環境活動「えのすいECO」の観点から発電床を採用し、来館者が通過すると点灯する仕組みにしている。海流とともに相模湾にやってくる魚を展示する「季節来遊魚水槽」も新設。併せて、相模湾の海流のルートを立体模型で表現した「海流マップ」を設けた。子ども向けには、小さな生物を低位置で観察できる「相模湾キッズ水槽」や、相模湾の環境やそこで暮らしている生物をわかりやすいイラストで紹介する「えのすいきッズ解説」なども設置した。水位調節による「川魚のジャンプ水槽」では、ジャンプ予定時刻のカウントダウン表示機能を加えた
三菱みなとみらい技術館【神奈川県横浜市】2010.09・2011.02
2010年9月、ヘリコプターの操縦を疑似体験できるプログラムとして人気の高い「スカイウォークアドベンチャー」をリニューアル。仮想現実（VR）感を一層高め、天候の変化や実際のヘリコプターに近い垂直離着陸などが楽しめるように整備。今回のリニューアルでは、CG映像をハイビジョン化して高精細にするとともに、横浜の景色変化に合わせ、建物などの配置を見直した。また、飛行中に雨や雪、雷を発生させられるように改修。運航ごとにランダムに発生し、発生に合わせてシミュレーターが振動するようにしている。航法モニターも改め、ヘリポート上空でのホバリング（空中停止）を可能にした。2011年2月、「宇宙ゾーン」を全面リニューアルし、航空関係も充実した「航空宇宙ゾーン」としてオープン。今後の有望な産業フロンティアである航空・宇宙分野の技術について、宇宙航空研究開発機構（JAXA）などの協力により、臨場感あふれる展示を追求。製造が始まった国産初ジェット旅客機 MRJ（Mitsubishi Regional Jet）の機首部分実物大模型や、国産ロケット H-II B の打ち上げを 360 度のスクリーンで上映する「チャンパーシアター」などによって、子どもから大人まで本物の迫力を体感できる展示内容に整備
新潟県立自然科学館【新潟県新潟市】2011.03
プラネタリウムがリニューアルオープン。29 年間運用した旧投影機を LED 光源式最新型装置に更新。同時にデジタルプラネタリウムを導入。魅力的な映像映写が可能なシステムに改修
新潟市しろね大風と歴史の館【新潟県新潟市】2010.04
3D 映像室の映像をリニューアル。迫力ある映像に加え、外国語のナレーションを導入。英、中、韓、露、仏の 5 か国語のナレーションを初めて採用し、区内の文化財や伝統芸能も取り上げた
小矢部ふるさと歴史館【富山県小矢部市】2010.10
館内の事務室、作業室を改修して「桜町遺跡出土品展示室」を開設。市は 2007 年に同遺跡出土品約 1,600 点を文化財に指定し、桜町 JOMON パークで一部公開してきたが、展示数が限られていたため、出土品を集約して一般公開することにした。柱材や Y 字材のほか、土器や石斧、装身具など考古学的に核となった出土品を展示
富山市ファミリーパーク【富山県富山市】2011.03
日本の里山に住む動物を、呉羽丘陵の斜面を生かして飼育するエリア「里山生態園」をオープン。2005 年度からファミリーパーク内で整備を進めてきた。フェンスと電気柵で囲んだ丘陵に、ニホンザルとニホンカモシカ、タヌキを飼育。生態園には自然観察舎があり、屋上から動物を眺めたり、一階からガラス越しに観察することもできる。同生態園はサルが主要な展示動物で、これまではコンクリート製の猿山でサルを展示していたが、生態園は地面の上にカキヤクリ、コナラなどの樹木があり、木に登るサルの様子などを見ることがができる
水見市立博物館【富山県水見市】2010.07
木造和船を作る道具や建造過程を紹介する模型を展示した「木造和船の建造技術コーナー」を開設。木造和船は定置網漁用などに昭和 40 年代まで建造されていたが、現在は技術を持つ船大工も数人に減っているため、常設展示で職人の技を知ってもらうことを目的にした。コーナーには建造過程を 4 段階で紹介した 10 分の 1 サイズの模型 4 基と「まさかり」や「のこぎり」など 65 点の道具が展示。模型は水見市北大町の船大工・番匠光昭氏が製作し、道具は別の高齢の船大工が寄贈。「テンマ」「ドブネ」など、木造和船の種類や建造作業を紹介したパネルも設置
石川県立伝統産業工芸館【石川県金沢市】2010.04
4 月 1 日から指定管理者による運営が始まるのを機にリニューアル。館内全体の案内サインを改めたほか、1 階は照明を増やし、柱の一部を撤去して展示スペースを新設。2 階は茶室を県内の若手作家が作品を発表する展示室に改装、従来の展示室は体験スペースに模様替えした
いしかわ動物園【石川県能美市】2010.04
「ヒョウ・ビュマ舎」「イヌワシ舎」「屋外展示場（オランウータン、チンパンジーなど）」がリニューアルオープン。ヒョウ・ビュマ舎には、強化ガラス製のトンネル「パンサーウォークイン」が設けられ、来園者がトンネルをくぐって、あらゆる角度から観察できる。動物たちのテリトリーに潜入したかのような演出を図り、猛獣たちが空間を立体的に利用して活動する自然な姿を、ガラス越しに観察する。イヌワシ舎には、檻にせり出した強化ガラス製の見学スペースを設置。オランウータンの展示場は、鉄製タワー 4 本とブランコを新設し、ロープ渡りができるように整備。チンパンジーの展示場は、杉丸太 26 本を使ってジャングリズムを設営（最大 7m の高さになる）。ふれあい広場の一角にはケヅメリクガメ専用の屋外展示場を設けた。動物本来の姿を見せる行動展示と合わせて、動物福祉の観点から「環境エンリッチメント」の要素を盛り込んでいる
金沢ふるさと偉人館【石川県金沢市】2011.03
展示コーナー「近代美の巨匠たち」を新設。文化勲章受章者で名誉市民だった建築家・谷口吉郎と漆芸家・松田権六、金属造形作家・蓮田修吾郎 3 人のゆかりの品を展示。3 氏のうち、谷口氏については既に同館で顕彰されていたため、内容を拡充。同コーナーは 2 階の企画展示コーナーと書斎の再現コーナーを改装して設置。同館では新たに松田、蓮田両氏に加わり、顕彰する偉人が 20 人となった

金沢湯涌夢二館【石川県金沢市】2010.04
開館 10 周年を迎え、1 階の常設展示室を「旅」「女性」「聖書」をキーワードにリニューアル。開館以来、収集してきた作品を新たに公開し、美人画で一世を風靡した画家・竹久夢二の足跡を伝える。浅野川水害の影響を受けていた壁面を補修、戦前の湯涌温泉の写真や壁紙に使った。節目を記念して、夢二が恋人・彦乃と湯涌温泉で滞在した際に描いた「湯の街」も常設展示する。同作品は劣化防止のため、レプリカと随時入れ替えながら展示
珠州市立珠洲焼資料館【石川県珠州市】2011.03
敷地内に復元窯が完成。13 世紀前半（鎌倉時代前半）に操業していた寺家クロバタケ 3 号窯跡（国史跡）をモデルに復元。窯の製作方法も、遺構の痕跡をもとに当時の材料・工法で復元している
のとじま水族館【石川県七尾市】2010.08
能登への観光客誘致の目玉として「ジンベエザメ館 青の世界」が完成。ジンベエザメの水族館での展示は国内 4 か所目。八角形の大水槽にはサメやエイなど 17 種類、約 3,500 匹の魚が展示されている。通路は螺旋状で、ジンベエザメの巨体を真上や横、下など、様々な角度から眺めることができる。深海を思わせる青い光を放つ八角柱の水槽（最大水深 6m、水量 1,600 トン）は日本海側では最大。高低差のある立地を生かして、水槽周囲の螺旋状通路には 8 か所の観察ポイントを整備
四季の森文化館【福井県永平寺町】2010.05
同町の歴史や文化を紹介する新資料館としてリニューアルオープン。館内に併設されていた町立図書館永平寺館の移転で空いたスペースなどを活用。民具や古墳からの出土品を展示するとともに、ガラス玉作りや勾玉作り、火おこし体験のできるコーナーも設置
福井県立恐竜博物館【福井県勝山市】2010.04・2010.07・2011.02
2010 年 4 月、休憩広場「ティラノガーデン」を屋外にオープン。大型デントの下には、ティラノサウルスの骨格が、今発掘されたかのように横たわっている（発掘時そのままの姿で復元した模型を配置）。2010 年 7 月、開館 10 周年を迎え、常設展示などの一部リニューアルを実施。1 階では全長 7m を超える肉食恐竜「ティラノサウルス」のロボットを配置。地下 1 階には大型草食恐竜「カマラサウルス」の全身骨格の発見時の複製を配置した。発掘調査の進展に伴い「福井県の恐竜」コーナーを拡張。2011 年 2 月、展示室 2 階「生命の歴史」ゾーンに新たな化石標本を追加。恐竜時代的大海ガメ・アーケロン、新生代のクジラの祖先・パキケタスとドルドンの標本を追加
シャトー・メルシャン ワイン資料館（旧：メルシャンワイン資料館）【山梨県甲州市】2010.09
「メルシャン勝沼ワイナリー」の名称で約 130 年間運営してきたワイナリーを、初めて全面的に改装して「シャトー・メルシャン」としてリニューアルオープン。生産設備や見学施設を整備し、国産ワインの「体験型情報発信基地」を目指す。「ワイナリーエリア」と「ワインミュージアムエリア」で構成され、「ワイン資料館（旧宮崎第二醸造場）」は改装して、日本ワインの魅力・歴史・ブドウ栽培・造りに加え、醸造技術が結集したワイン「シャトー・メルシャン」シリーズの製造工程などを紹介
飯田市美術博物館【長野県飯田市】2011.03
プラネタリウムがリニューアルオープン。コンピューターとプロジェクターで投影するデジタル式に変更。コンピューターで描いた動画や実写映像を投影することが可能となり、番組の表現も格段に広がった。座席数は 90 席で、大人でもゆったり楽しむことができる。新システムはコンピューターが 11 万 5,000 個の星の位置情報をデータとして内蔵しているため、視点を太陽系、銀河系、さらには 137 億光年の彼方の宇宙空間まで移動させることが可能で、地球外から見える宇宙を実体験できる
松本市はかり資料館【長野県松本市】2010.04・2011.02
2010 年 4 月、開館から 20 年を経過して、建物の内外装の改修を行うとともに展示構成を一新。壁面の漆喰を塗り直すなどの工事を行ったほか、約 1,000 点におよぶ収蔵品のうち約 120 点を選び、キーワードごとに整理するなどして展示の見直しを図る。2011 年 2 月、敷地内に明治時代の材木問屋が客人をもてなした「旧三松屋蔵座敷」が移築され、資料館の一施設としてオープン。国重要文化財の旧開智学校を手掛けた大工棟梁・立石清重が設計・施工した擬洋風建築で、1893（明治 26）年に建てられた。2001 年に松本市が所有者の 7 代目当主から譲り受けたところ、老朽化が進んでいたため、市は一度解体し、中町通りで公開、活用していくのがふさわしいと判断して、資料館北側に購入した空き地に移築
ハケ岳美術館・原村歴史民俗資料館【長野県原村】2010.04
開館から 30 年を経て老朽化したため、リニューアルを実施。1980 年の開館以来、初めて館内の天井を飾る絞りつりレースカーテンの取り替えを実施。改修期間には、床の貼り替え、常設展示の展示替えなども行った
下呂温泉合掌村【岐阜県下呂市】2010.07
観光施設を閉鎖して「歳時記の森」をオープン。地元の伝統家屋を再現した木造建築などを中心とした施設に再整備。敷地内の樹木も地元の里山の樹木に植え替えられ、地域の文化と自然が感じられる施設となっている。建物は、囲炉裏やかまどがある「萬古庵」（2 階建て約 343 ㎡）を中心に民具を展示する板倉や水車小屋などで、飛騨の民俗文化と山里の暮らしを再現。萬古庵の 2 階には、円空仏を展示
こども陶器博物館【岐阜県多治見市】2010.04
開館 10 周年を機にリニューアルオープン。地下 1 階の常設展示室を改修し、床と壁にカラーアクションを張った「キッズブレイルーム」（約 50 ㎡）を新設。来館者へのアンケートで「子どもの遊び場」を求める声が多かったのを考慮した
藤村記念館【岐阜県中津川市】2010.07
新たな企画展示室として「第二文庫」の建て替えを実施。それまでの第二文庫の建物（1971 年建設）は狭くて老朽化し、空調設備もなかったため改築。新しい建物は、木造一部鉄筋コンクリート造り 2 階建て、延床面積 131 ㎡。「馬籠宿」という歴史景観に配慮した設計で建てられ、ガラス張りの展示室からは中津川の街の方角が眺望できる造りになっている。1 階は多目的トイレと廊下、エレベーター、2 階には展示室（46 ㎡）とテラス、ポーチが配置

伊豆アニマルキングダム (旧：伊豆バイオパーク)〔静岡県東伊豆町〕2010.04
伊豆バイオパークを全面改装し「伊豆アニマルキングダム」としてリニューアルオープン。「驚きと感動－地球大好き、動物大好き」をコンセプトにリニューアル。新施設「ウォーキングザファリ」ゾーンでは動物の群れの中を歩きながら様々な角度で動物を見学することができる（全長 450m の歩道を新設）。また、ガラス張りの展示場に隣接する「レストランアニマルキングダム」はホワイトタイガーやライオンなどを見ながら食事が楽しめるレストランに整備。ホワイトタイガー、ライオン、チーターなど肉食の猛獣などを新たに飼育。小動物とのふれあいコーナーも設けられている
玉泉寺ハリス記念館〔静岡県下田市〕2010.12
増設・改装工事を行い、リニューアルオープン。既存施設 (165 m ²) に新館 (99 m ²) を増築。それまで手狭で展示しきれなかった貴重な古文書や資料、記念の品々が常設展示できるようになった
静岡県立美術館〔静岡県静岡市〕2010.04
1986 年の開館以来初となる大規模改修工事を実施。県民ギャラリーは白い壁に囲まれ、床は塩ビタイルからフローリングに新装。2 階展示室はページュのカーペットに変え、エントランスなどの照明には LED ライトを採用
東海大学海洋科学博物館〔静岡県静岡市〕2010.07
館所蔵の貴重な標本を集めた新展示「駿河湾の深海生物」を公開。開館 40 周年を記念したリニューアル事業の一環。展示は縦約 3m、横約 15m。壁面に約 150 種類の深海生物の標本をはめ込んだ。体長約 60 cm ほどもある世界最大級のチョウチンアンコウをはじめ、オスの個体がメスの体に取り込まれたような状態で見つかったピヴァンコウ、ユニークな姿が特徴のパケダラ、ミツクリザメ、オオグソクムシなど、日本で最も水深の深い駿河湾ならではの多様な生物が並ぶ
浜松市博物館〔静岡県浜松市〕2011.03
1979 年の開館以来初となる常設展示室を全面改装。展示室の壁や天井を黒で統一し、120 個の発光ダイオード (LED) の光をスポット的に照らして展示物を目立たせた。1,600 点の展示物は 1,000 点に厳選。市内で出土したワニの全身化石や、静岡銀行から寄贈された江戸時代の大判小判などを新たに展示。学芸員と来館者が触れ合える「解説コーナー」を新設。DVD を放映するモニター画面や資料検索のパソコンを配置。合併後の浜松市全域の歴史が把握できるように整備
平野美術館〔静岡県浜松市〕2010.09
本館展示室をリニューアルオープン。多彩な美術作品に触れ合うことができる空間を整備。特別展示室「素芸洞」と名称を変更した併設のギャラリーでは、地域に関連したアートを紹介したり、ワークショップや講演会などの様々な体験を通してアートに触れ合う場を提供。2009 年末から施設改修を行い、展示室内の段差をなくし、車いすの来館者が利用しやすいようにスロープも設置
富士川楽座〔静岡県富士市〕2010.07
プラネタリウム「わいわい劇場」がオープン。プラネタリウムは富士川楽座 4 階のドームシアター「わいわい劇場」(72 席) をリニューアルして設置。高精細の光学式プラネタリウムとデジタルプラネタリウムを連動させたハイブリッドシステムが特徴。100 万個以上の星を投影できる中型ドーム用の光学式プラネタリウム「メガスター 2B」と、コンピューター画像で星座や天体などの姿を表示できるデジタルプラネタリウム「ステラドーム・プロ」を導入。新開発の連動システムを用いて、メガスターから投影した天体に、ステラドームからプロジェクターを通して投影するコンピューター画像を重ね合わせることで、よりリアルで分かりやすい番組上映を実現
蒲郡市竹島水族館〔愛知県蒲郡市〕2011.03
水族館の目玉だった回遊水槽と、建物入口前に展示してあった世界一周手づくりヨット「エリカ号」の耐久性が限界を迎えたのを機に、全面的にリニューアル。海の生き物に触れることができるタッチングプール「さわりんぶー」を設置。20 種類の生物を展示する「たけすいの小窓」やクラゲ水槽も新たに加わった。展示生物の内容を大きく変え、館内も全面バリアフリー化。エリカ号の撤去に伴い、館内に復元展示してあったキャビン部分は、女性用トイレと授乳室に変更
トヨタテクノミュージアム産業技術記念館〔愛知県名古屋市〕2010.04
子ども向けの体験施設「テクノランド」をリニューアルオープン。自動車や繊維機械の基本構造をゲーム感覚で楽しみながら知ることができる。電動カーの試乗や風洞実験の体験、水の勢いで横糸を通すウォータージェット繊維機の仕組みを水鉄砲で学ぶコーナーなど、12 のアトラクションが設けられた。テクノランドはオープン 15 で老朽化が目立ったため、改修を実施。従来の展示品の一部は記念館内の学習施設「創造工房」に移設
新城市設楽原歴史資料館〔愛知県新城市〕2010.04
展示様式などを一新してリニューアルオープン。パネルの解説文を小学校 6 年生程度が理解できるようにしたほか、より古式銃に重点を置き、圧倒的な数を生かしながら体系的な配置に心がけるなどの工夫を図ることで、見やすく分かりやすい展示を目指した。それぞれのキャプションで紹介しきれない解説の場合、「QR コード」を用いて携帯電話で確認できるように整備
でんきの科学館〔愛知県名古屋市〕2011.03
未来を担う子どもたちが電気や科学にもっと興味を持てるよう、全員が科学実験に参加できる「サイエンスプラザ」を開設。同館 2 階の展示室「くらしと電気」の実験スペースはでなプラザ」を大幅に拡充し、体験型科学実験ショーができるサイエンスプラザにリニューアル。10 種類のテーブルを設置し、各テーブルには、超音波や遠心力を利用して遊べる仕掛けが施されていて、実験ショー以外の時間帯も楽しむことができる。従来はスタッフが「見せる形」だったが、実験道具を各テーブルにも用意し、参加者全員が実際に体験できるように改めた

名古屋科学館〔愛知県名古屋市〕2011.03
既存の理工館と天文館に替わる「新館 (地上 7 階・地下 2 階)」を改築整備。旧名称を受け継ぎ、プラネタリウムと天文学関係の展示室を含む主に球体の施設部分が「天文館」、その西側部分が「理工館」となった。大型展示として、地球上の水の循環をモチーフとして水に触れて楽しめる「水のひろば」、高さ 8m の「竜巻ラボ」、120 万ボルトの放電が可能な大型テスラコイル 2 機がある「放電ラボ」、マイナス 30℃を体感できる「極寒ラボ」が設けられた。新しいプラネタリウムは、ドーム内径 35m という世界一の大きさと映像クオリティを実現。限りなく本物に近い星空を再現するための光学式プラネタリウムと、コンピュータで計算した星空をプロジェクターで投影し、未来や過去の星空や、宇宙旅行等も再現できるデジタル式プラネタリウムを設置。全天動画システムや高精細な景色を投影するデジタルパノラマシステム、レーザー投影システムや補助投影機群等も整備
名古屋市東山動植物園〔愛知県名古屋市〕2010.04・2010.10
2010 年 4 月、「ニホンザル舎」「ゾウガメ舎」「世界のメダカ館」がリニューアルオープン。ニホンザル舎は、生息地である日本の奥山をイメージし、数多くの木々を配置。また、展示場の中に観察デッキを設置し、ガラス越しに間近で観察できるように整備。ゾウガメ舎では、屋外の運動場を新設。周囲の観覧通路を低く整備し、ドーム状のビューイングシエルトも設置してゾウガメの目の高さから観察することができる。世界のメダカ館では、ニホンメダカが本来生息している田んぼの風景を再現し、そこに生活するメダカや、川の上流から河口・干潟まで多様な環境の中で生活する身近な水生生物や希少淡水魚類などを展示。2010 年 10 月、「アメリカバイソン舎」がリニューアルオープン。運動場に観察デッキを設置。運動場と獣舎の広さは、1.7 倍に拡張。隣接してオグロプレーリードッグの獣舎も新調。穴の中も見られるようにガラス越しに断面を展示
鳥羽水族館〔三重県鳥羽市〕2010.04・2010.12
2010 年 4 月、「伊勢志摩の海・日本の海」ゾーンをリニューアル。床から水槽までの高さを短くし、小さい子どもにもより近くで生きものを見ることができるよう整備。ゴンズイが王になって泳ぎ、クサフグが砂に潜っている様子など、生態の不思議さを観察できる水槽を整備。2010 年 12 月、「伊勢志摩の海・日本の海」ゾーンをリニューアル。4 月のリニューアルに引き続き、深海性生物を展示する水槽や近海の岩場をイメージした水槽を設置。「ジャンクワールド」ゾーン的大型水槽では、魚類、哺乳類、鳥類、植物をつなく、水を中心とした環境全体を再現
三重県環境学習情報センター〔三重県四日市市〕2011.03
展示ホールがリニューアルオープン。「地球温暖化」「森林」「水環境」「ごみ」「生物多様性」の 5 つのテーマに分かれている。それぞれ「地球とわたしのつながり」について、触れて学ぶ展示スペースに整備。「CO2 削減メーター」「木のぬくもりを感じよう」「昨日使った水調べ」「マークで学ぶ楽しい分別」「生物合わせ鏡」など、見て触れて学べる展示を配置
浅井歴史民俗資料館〔滋賀県長浜市〕2011.01
「江・浅井三姉妹博覧会」の連携会場の一つである同館が、1・2 階の展示室を全面リニューアル。2 階展示室では、浅井三姉妹の三女、江の誕生場面や、小谷城落城などを等身大の人形ジオラマで再現したほか、1 階展示室には映像で姉川合戦を紹介する「姉川合戦絵巻物シアター」などを設置。1 階展示室は「浅井家三代の間」をテーマに、パネルや映像展示コーナーを設置。2 階には「お市と三姉妹の生涯」をテーマに、等身大の人形のジオラマで、江誕生の年の激動を再現
近江神宮時計館宝物館 (旧：近江神宮時計博物館)〔滋賀県大津市〕2010.04
近江神宮創建 70 周年を機に近江神宮時計博物館が「近江神宮時計館宝物館」としてリニューアルオープン。1 階の時計館には高松宮家 (有栖川宮家伝来) から御下賜された国内最古級の懐中時計など、各種の和時計をはじめ古今東西の時計、2 階の宝物館には曾我蕭白「楼閣山水図屏風」(重要文化財 展示品は複製) や河井寛次郎の陶器、刺繍で織った百人一首織かるたなどを展示
小谷城戦国歴史資料館〔滋賀県長浜市〕2011.01
「江・浅井三姉妹博覧会」連携会場の一つとなる同館が、新たに敷地全体を城郭に模した柵で囲み門を設け、建物の外装も土壁風に塗り替え窓の外に格子を設置するなど一新。内部は白塗りの土壁風と欄間などを設置することで戦国資料を展示する施設を強調。第 1 展示室は、「浅井三代」、第 2 展示室は、「浅井三代のいた小谷城」をテーマに、年表や文書、出土遺物や絵図などを展示
京都国際マンガミュージアム〔京都府京都市〕2010.04
開館 3 年を機に常設展示を大幅リニューアルオープン。メーンギャラリーとして使用していたスペースに、幕末の風刺漫画から現代までの漫画の歴史と変遷や、漫画の社会的機能について、アニメーションや漫画の描き方や多くの企業がかかわる産業としての漫画文化、海外から見た漫画文化など、漫画のあり方をさまざまな視点から体系的に紹介。また、海外で翻訳されている日本漫画や海外の漫画を楽しむ「マンガ万博」コーナーは 1,400 冊から 5,250 冊に増やし書棚「マンガの壁」は全長 140m から 200m に延長
幕末維新ミュージアム 雲山歴史館〔京都府京都市〕2011.03
館内の全面リニューアルを実施。全館を LED 照明に交換し、省エネを図りながら明るく見やすい展示室に一新。2 基の 103 型プラズマ大型映像を使った 3D 映像を導入。さらに、資料の長期展示が可能な高機密性の「エアタイトケース」も増設したほか、トイレ設備も一新
大阪ガス ガス科学館〔大阪府高石市〕2010.07
展示室の一部を改装して「くらしイノベーションプラザ」をオープン。次世代の固体酸化物形燃料電池 (SOFC) やスマート・エネルギー・ネットワークなど、低炭素化社会の実現に向けた取り組みや埋設したガス管の探査法などを紹介し内容を充実。大人の来館者数増加に期待
大阪人権博物館 (リバティおおさか)〔大阪府大阪市〕2011.03
総合展示のリニューアルを実施。被差別部落や在日コリアン、アイヌ民族の差別の歴史や実情を伝える展示が中心だったが、児童虐待やいじめ、エイズなどの課題を幅広く紹介。また、小中学生の人権教育に活用できる施設を目指し、民族楽器やユニバーサルデザインの日用品に触れるなどの体験コーナーを多く設置、説明をわかりやすくする工夫を図る

キッズプラザ大阪〔大阪府大阪市〕 2011.02
5階「科学・自然コーナー」をリニューアルし、新しい2つのゾーンをオープン。子どもたちの生活の中で身近になっている「アニメーション」と、身近だけれど普段じっくり観察することができなくなっている「生き物たち」にスポットを当てた。日本最大級の巨大プラキシノコープを使った「くるり!動く絵タワ〜」や「パタパ photo アニメ」「動き出す絵をかこう」などを設置。1枚ずつの絵が滑らかに動き出すアニメーションの原理が体験できる。従来のワークショップスペースは「小さなながくの研究所」として改装。動物の一部を見せる「だれのかけら?」や「みんなのいきもの日記」など、身近な生き物との出会いをサポートする展示物が揃っている
国立民族学博物館〔大阪府吹田市〕 2011.03
本館展示新構築の第3年次として、オセアニア・アメリカ展示場の新構築を実施。オセアニア展示(660㎡)では、広大な海の広がるオセアニアを、島という資源の限られた環境に住みながら、海を最大限に利用して暮らす人たちの生活文化を紹介する。「移動と拡散」「海での暮らし」「島での暮らし」「外部世界との接触」「先住民のアイデンティティ表現」で構成。アメリカ展示(320㎡)では、様々な自然環境に適応した文化の多様性や、15世紀以降の歴史の変容、現代の文化的創造を「出会う」「食べる」「着る」「祈る」「創る」のコーナーに分けて展示
明石市立天文科学館〔兵庫県明石市〕 2010.05
開館50周年を機に展示室の全面リニューアルを実施。3階は子午線や天体、時、観測資料室などの6ゾーンを設置。子午線の通る明石の町を800分の1のジオラマ模型の設置やハンドルを回して惑星の位置を確認する太陽系儀を15年ぶりに復活。時のギャラリーには、月の満ち欠けが体験できる装置や振り子時計など原理模型や日本標準時を決めた原子時計の実物などを展示。4階屋外広場には、ユニークな時計計6基を設置
神戸市立須磨海浜水族園〔兵庫県神戸市〕 2010.08
淡水ガメ保護研究施設「亀楽園」を開設。陸水生態系に多くの外来種が侵入し、本来の生物多様性が破壊されつつあり、それらの外来種の中から、淡水ガメのミシシippアカミミガメ(通称:ミドリガメ)に焦点をあて、既存施設を改修して開設。神戸市、その周辺地域のミシシippアカミミガメを受け入れ、駆除を推進するとともに、生態を研究することで、日本に本来分布するニホンイシガメや他の貴重な生物を保全することを目的に設置
神戸市立青少年科学館〔兵庫県神戸市〕 2011.03
プラネタリウムのプロジェクターをリニューアル。6台のプロジェクター(2004年導入)による全天投映から、2台の投映機で魚眼レンズを使って全天に投映。これまでより、映像の継ぎ目が少なくなり、明るく、きれいで、迫力ある映像を提供
史跡・生野銀山と生野鉱物館〔兵庫県朝来市〕 2011.03
「生野銀山文化ミュージアム」をオープン。日本の近代化の礎ともなった、鉱石、生野鉱山、および周辺の文化への関心を深めていただくため、展示テーマや、展示内容を吟味し、また、できるだけ子どもにも分かりやすいように、難しい漢字にはルビをふるなどの工夫を図る。江戸時代までの生野銀山、明治以降の生野鉱山の歴史、探鉱・採掘・選鉱・精錬の工程、鉱山町特有の町並み、鉱山文化などのパネル展示や、生野鉱山で長く活躍された藤原寅勝コレクション609点、小野治郎八コレクション155点などの鉱物標本、「生野鉱」、「桜井鉱」始め70種以上にも及ぶ生野産出鉱石の一覧表や一部標本も展示
中内功記念館〔兵庫県神戸市〕 2010.06
館内全面リニューアルを実施。中内功の業績にスポットを当てていた展示から、日本の戦後流通史をたどれる内容にリニューアル。ダイエー1号店を再現したコーナーを設置したほか、プライベートブランド商品の先駆けとなったカラーテレビ、流通の変化と社会情勢をまとめた年表などを展示
百耕資料館〔兵庫県神戸市〕 2010.07
2004年以来、約6年ぶりに展示を全面リニューアル。「板宿の歴史ー原始・古代から近現代までー」と題して、主に江戸時代以降の板宿村などの古文書・古地図を常設展示を設置。これまでの春と秋の一時開館から、より地域に身近な資料館になることを目指し通年開館を開始
橿原市昆虫館〔奈良県橿原市〕 2010.06
施設の老朽化に伴う本館の改修と新館の増築を行いリニューアルオープン。温室から渡り廊下で繋がる新館を増築。新館1階にはボランティア室や収蔵庫、2階には、生体展示室、体験型の研修室や情報カウンターなどを整備。本館の改修は、1階ロビーの事務所や受付カウンターなどを開放的に改修し、授乳・救護室を設置。中二階にあった研究室と標本作成室は新館に移設し、80名収容可能な研修室に改修。チョウやハチの生態が分かる展示や昆虫の飼育、標本作りなど、見て、聞いて、触って、感じるをテーマに、楽しんで学習する施設としてリニューアルを図る
桜井市立埋蔵文化財センター〔奈良県桜井市〕 2010.07
12年ぶりとなる常設展示の全面リニューアルを実施。縄向遺跡で見つかった大型建物跡の復元コンピューター・グラフィックス(CG)パネルも展示。桜井のあけぼの、マキムクの時代、王権と祭祀、律令国家の成立への4ゾーンを設け、常設展のスペースを1.5倍に拡充。ゾーンごとに色分けして見学しやすいように工夫を図る。農地整備で見つかった前方後円墳、小立古墳(5世紀後半)の家形埴輪や蓋形埴輪の復元が完了し初めて展示。埴輪はガラスケース内の展示から露出展示に変更
奈良国立博物館〔奈良県奈良市〕 2010.07・2010.10
2010年7月、本館が「なら仏像館」に改められ、リニューアルオープン。多数の名品をじっくり鑑賞できるように、スポットライトを多用して仏像の表情や陰影が浮かび上がるように工夫を図る。2010年10月、西新館を全面リニューアルオープン。より快適に観賞できるように、展示ケースに低反発・高透過のガラスを採用したほか、LED照明を使用し、宝物に負担をかけないように工夫をしたほか、ケース下部に免震装置を付け、震度7クラスの地震でも宝物がほとんど揺れないように設置。また、子ども連れの家族などからの要望に応え、1階の学習室を託児室に改装

奈良文化財研究所 平城宮跡資料館〔奈良県奈良市〕 2010.04
平城遷都1300年に合わせ、22年ぶりとなる全面改修を実施。平城宮跡をより分かりやすく紹介できるように、概要やガイダンスに特化。復元品が約50点、遺物展示品も約300点と、以前より3分の1まで減らし、解説文もこれまでより短めに変更。また、官衙(役所)復元ジオラマや、正倉院の宝物を参考に復元した調度品を配置した書斎、寝室を復元した宮殿復元展示コーナーなどを設置
大和文華館〔奈良県奈良市〕 2010.10
近畿日本鉄道の創業100周年記念事業の一環で、開館50周年を迎える同館がリニューアルオープン。エントランスの側壁に越前和紙を施し、LEDで自然光を演出。展示ケースは最新の照明機器や高透過ガラスに変更し、来館者の靴音が響かないようにタイル床の上にカーベットを敷くなど鑑賞環境の向上を図る。また、グッズ販売スペースの拡大や休憩スペースも整備。さらに、トイレの移設拡充、駐車場から同館への通路整備などでバリアフリー化も実施
皆生温泉素鳳ふるさと館〔鳥取県米子市〕 2010.11
皆生温泉開湯110周年記念事業の一環でリニューアルオープン。市観光センター内に開設されている同館は、展示スペースが狭かったため、センター内で移設・改装を実施。江戸時代のひな人形などのコレクション約2,000の中から50〜100点を2カ月に1回入れ替えて展示
鳥取県立博物館付属山陰海岸学習館〔鳥取県岩美町〕 2010.04
山陰海岸ジオパークの拠点施設として展示室の全面リニューアルを実施。新たな展示室は、「山陰海岸ジオパーク」「山陰海岸の誕生の物語ー日本海の形成ー」「日本海の構造と生きもの」「山陰海岸の生きもの」「調べてみよう(体験学習コーナー)」「トピック&ニュース」の6コナで構成。そのほか、エントランスホールや体験学習室の内装改修、外壁等の補修、館外看板を新設
北栄町北条歴史民俗資料館〔鳥取県北栄町〕 2010.04
新たに展示室がオープン。倉庫、管理室兼作業室を改装して展示面積の拡大、機能の充実を図る。展示室の増設により2展示室となり、より充実した常設展示、企画展の開催が可能となる。常設展示は、陶工・生田和孝の作品を主に展示
足立美術館〔島根県安来市〕 2010.10
開館40周年を機に地下1階、地上2階建ての新館がオープン。展示室は1、2階にともに配置され、50〜200号の大作を約120点を展示することが可能。1階には、作品解説や講演会、映画上映に使用する映像ホール(100席)とミュージアムショップも設置。新館と本館を結ぶ地下通路も整備
浜田市立石正美術館〔島根県浜田市〕 2010.04
新館が増築オープン。北西部に隣接する鉄骨2階建て延床面積533㎡。展示室、収蔵庫、展示可能な渡り廊下で構成。石本正氏が「心の眼」で選び蒐集した作品や、石本ゆかりの作家の作品を展示
呉市海事歴史科学館(大和ミュージアム)〔広島県呉市〕 2010.04
開館5周年を機に1階展示室「呉の歴史」の一部をリニューアル。平和産業港湾都市としての再生が、戦後の呉の様相と共に再現。戦後復興期・昭和20年代の歩みを紹介
広島市安佐動物公園〔広島県広島市〕 2010.04
新展示スペース「レオガラス」を開設。園内の通路に面して設置。強化ガラスで覆われており、屋外飼育場との間にある溝に橋を架けライオンが来園者のそばまで寄って来られるように工夫。「ライオンまでの距離が遠い」との来園者の声に対応
香月泰男美術館〔山口県長門市〕 2010.04
2011年の香月泰男生誕100年に向けてリニューアルを実施。作品保存の面からの改善を望む声に応えて、展示照明、空調設備、内装などを大幅に改修。セキュリティ機能の充実や収蔵庫増設(第2収蔵庫32㎡)も図る。新潮社から同館に寄贈された、1972年に1年間連載され、後の「画家の言葉」としてまとめられた自筆原稿の一部が初公開。地方文化の発信、地域コミュニティーの安らぎの場としての活用も担う
山口県立萩美術館・浦上記念館〔山口県萩市〕 2010.09
萩焼をはじめとする陶芸作品を専門的に収集・展示する「陶芸館」を増築オープン。延床面積は約2,440㎡、展示面積約800㎡。江戸時代の「古萩」から現代の陶芸作品に至る萩焼の歴史を、資料や映像でも紹介
愛媛県立とべ動物園〔愛媛県砥部町〕 2010.04
改修工事を終えて新「ペンギン舎」が完成。柵越しに観察する形から、プールの前面を高さ1.5m、横8mの亚克力板に改修。プールの底の一部も亚克力板にし、ペンギンを下から観察できるように工夫。陸上部分は、水をイメージした白から、フンボルトペンギンの住む南米の岸壁を思わせる灰色で統一
坂の上の雲ミュージアム〔愛媛県松山市〕 2010.04
喫茶スペース「ミュージアムカフェ」が新たにオープン。2階北西側のオープンスペースを活用。一面ガラス張りの窓からは萬翠荘などを眺めることができる
松山市水道資料館「水と人のみらい館」〔愛媛県松山市〕 2010.07
新資料館「水と人のみらい館」としてリニューアルオープン。市之井手浄水場管理本館2階の旧水道資料館を2.3倍に拡張し、2階部分すべてを改装。館内は、「エントランスゾーン」「学習ゾーン」「体験ゾーン」の3つのゾーンで構成。エントランスゾーンでは、床面に広がる松山市全域の航空写真の上を歩いて、水道水が学校に届くまでのルートを辿り、学習ゾーンは、水の歴史や水道水が届くまでを紹介。体験ゾーンは、井戸くみの疑似体験や水道管の大きさを体感できるなど、さまざまな仕掛けで楽しく学ぶことができる
キラメッセ・室戸 鯨館・鯨の郷〔高知県室戸市〕 2010.04
「世界ジオパークネットワーク」加盟を目指し「室戸ジオパーク・ギャラリー」をオープン。鯨館2階の旧シアタールームに整備。四国地域の3D地質図や室戸の地質名所のマップ、岩石を展示するほか、室戸の地質などを5カ国語で解説する映像を上映

高知県立のいち動物公園〔高知県香南市〕2010.04 シロテナガザル展示場に「ギボン・ループタワー」が完成。プラキエーション（ぶら下がりの行動）が見られるタワーを一新。これまでより2m 高い10mの鉄製の柱のほか、6mの県産ヒノキ7本も設置 高知県立牧野植物園〔高知県高知市〕2010.04 南園に新「温室」がオープン。旧温室は築40年が経過したため、建て替え工事を行い、面積は約2倍、植物は約40種多い約540種に増加。「みどりの塔と回廊」「乾燥地の植物」「熱帯の暮らしと植物」「資源植物ゾーン」「ヘリコニアトンネルゾーン」「ウォーターガーデン」「展望デッキ」「ジャングルゾーン」の8つのゾーンで構成され、熱帯の森にいるような散策を楽しむことができる 高知県立歴史民俗資料館〔高知県南国市〕2010.04 約5カ月間の改装工事を終えてリニューアルオープン。2階には「長宗我部展示室」を新設。「秦氏から長宗我部氏へ」「戦国大名への道」「豊臣家への奉公」「長宗我部氏の滅亡」の4つのコーナーで、長宗我部の盛衰の足跡を、初公開の書状など多数の資料で紹介。3階総合展示室では、展示資料を大幅に入れ替え、土佐の人々の歴史・文化・くらしを多角的に紹介。また、入口にスロープを設けるなどバリアフリー化も図る 瑞山記念館〔高知県高知市〕2011.03 建設から40年以上が経過したことによる老朽化に伴い全面改修を実施。展示パネルの全面変更や資料のリニューアルを行い武市半平太の生涯を分かりやすく紹介。さらに、英語の解説文も一部添え、海外からの観光客にも対応。NHK大河ドラマ「龍馬伝」で武市半平太が大きく取り上げられたことにより、県内外からの観光客が急増し、観光客からの展示の充実を望む声に応える 有馬記念館〔福岡県久留米市〕2010.11 施設の老朽化に伴い、リニューアルを実施。新たに、多目的トイレや車椅子専用昇降機が設置され、バリアフリー化を図ったほか、耐震補強も実施。常設展は「有馬氏と久留米城」「姫様のものがたり」など5つのテーマで構成 「博多町家」ふるさと館〔福岡県福岡市〕2010.04 1995年の開館以来初となる展示棟の全面リニューアルを実施。1階は「見る展示」、2階は「触れる展示」に分け、1階には博多の歴史を紹介するパネル、山笠や松囃子のミニチュアなどを新たに展示。2階には博多に関する書籍を集めた博多町家ライブラリーを設置したほか、奥にあった実演コーナーを入口近くに移動させるなど、見やすく、分かりやすく整備。さらに、主な解説には日・英・韓・中の4カ国語表記に対応 福岡市植物園〔福岡県福岡市〕2010.10 開園30周年を迎えリニューアルオープン。老朽化していた温室の設備更新、バラ園の植栽面積の拡張、展示内容の見直しを図ったほか、バリアフリー化も実施。温室内を舞うチョウを通年見られるようになり、バラ園ではこれまでの倍となる約250種を鑑賞 福岡市美術館〔福岡県福岡市〕2010.07 2階ロビーの一角に「キッズコーナー 森のたね」がオープン。「森・水辺・空」を感じさせる空間を提供。こどもと一緒にくつろげて、絵本などを閲覧できる。壁に展開する森の風景は、マジックテープで着脱できるクッションで描かれており、クッションは自由につけて遊ぶことができ、雲を思わせるテーブルとイスや、カラフルなソファ、畳を配置。授乳室も併設 彦岐風土記の丘〔長崎県彦岐市〕2011.02 民俗工芸文化館を「国史跡彦岐古墳群古墳館」としてリニューアルオープン。島内古墳の出土品や発掘の様子などをより分かりやすく紹介するガイダンス施設として整備。展示室の中央には長崎県最大の前方円墳「双六古墳」の築造の様子を再現した模型を展示 西海国立公園九十九島動物植物園 森きらら（旧・佐世保市亜熱帯動植物園（いしだけ動物園）／※2011年4月に館名変更）〔長崎県佐世保市〕2010.04 国の天然記念物・ツシマヤマネコの飼育下繁殖施設が完成。飼育下繁殖施設としては国内5例目、長崎県内では初の設置。動植物園横の雑木林を切り開いて建設。鉄筋コンクリート建て、延床面積約100㎡。約6㎡の放飼場と約2㎡の寝室を10セット設置（非公開放）。特徴は木製の通路「キャットウォーク」。通路は放飼場間を貫いており、オスが行き来して、各放飼場のメスと「お見合い」をする。国内初の試みで、カメラを設置し、相性の良いペアを専門飼育員が別室で確認。同時期には、ウマやヤギなど、人との関わりが深い動物を展示する「ふれあい体験広場」もオープン。ウサギやモルモットとのふれあい体験場が充実したほか、ヤギ・ヒツジの展示舎に長崎県固有種である対州馬、対馬地鶏が仲間入り。ゾウガメなどを間近で観察することもできる。モグラ、ミイアキャットなどを展示した「土の城」を整備するとともに、多目的トイレや授乳室なども併設。2007年に策定した動植物園活性化計画の一環で、1961年の開園以来、園内における大規模な施設整備は初の取り組み 長崎ペンギン水族館〔長崎県長崎市〕2010.07 ふれあいペンギンビーチに「観察・えさやり体験ステージ」が完成。海で泳ぐペンギンを、より近い場所で観察するために整備。ビーチ奥の海上に位置し、床を網の目状にすることで、足下を泳ぐペンギンの姿を見ることができるよう工夫 日本二十六聖人記念館〔長崎県長崎市〕2010.11 施設の老朽化に伴って改修工事を行いリニューアルオープン。館内改装と照明の改善、収蔵庫を新設したほか、展示内容も一新。新たに二十六聖人を紹介する9つのゾーンを設置し、時代に沿ってキリシタン史の流れを紹介	平戸市たばら昆虫自然園〔長崎県平戸市〕2010.04 昆虫館に「標本展示室」が新たにオープン。昆虫愛好家の島山邦夫氏から昆虫標本約6千点（約1,500種）の寄贈を受け、昆虫館を増改築。標本展示室は広さ約90㎡で、温度を保つ装置が施され、島山コレクションを中心に約70箱を展示 熊本市動植物園〔熊本県熊本市〕2011.03 チンパンジー展示施設が「チンパンジー愛ランド」としてリニューアルオープン。池に囲まれ、遊具のある670㎡の島と、2階建ての全天候型飼育舎で構成。檻のない環境やガラス越しに間近で生態観察ができる。観察スペースには多目的トイレや授乳室も設置 熊本市立熊本博物館〔熊本県熊本市〕2011.03 プラネタリウムの老朽化に伴い、リニューアルを実施。輝度の高い光源LEDを用いた最新タイプに更新し、より自然に近い星空をドーム全面に投影。光学式プラネタリウムは、6.5等星までの約9,500個の星を映し出し、天の川も忠実に描く。全天周映像システムは、星が迫ってくるような迫力を演出 ※博物館全館リニューアル工事のため、2013年7月1日から休館中（再オープンは2014年秋の予定／プラネタリウムの改修は予定されていない） 照葉樹林文化館〔宮崎県綾町〕2010.04 展示物や図書コーナーなどを充実させてリニューアルオープン。入口には高さ約3mの照葉樹林を紹介する大型パネル10枚を設置。森林に関する図書コーナーや照葉樹林の保護・復元事業を紹介するパネルも新設。動物の剥製や木の標本など既存の展示物の展示レイアウトも工夫を図り、見やすさにも配慮 宮崎市フェニックス自然動物園〔宮崎県宮崎市〕2010.11 新たに「レストラン＆ショップ」がオープン。新レストラン棟の延床面積984㎡。救護室と授乳室も配置されたほか、ショップ内にはゲームコーナーも設置 海上自衛隊鹿屋航空基地史料館〔鹿児島県鹿屋市〕2010.04 新しい常設展「基地と大隅（まち）～その真実（こころ）～」を公開。新常設展は、同基地から飛び立った特攻隊員を支えた地域を、約90点のパネルや物品で紹介。鹿屋市防衛協会青年部会を中心に元挺身隊員に取材した話や写真、女学生が作った身代わりの特攻人形、銃痕の残る鉄骨の柱などを展示 かごしま近代文学館・かごしまメルヘン館〔鹿児島県鹿児島市〕2011.03 両館ともに展示を一新してリニューアルオープン。展示物の老朽化を解消して幅広い年齢層を対象に施設の充実化を図る。近代文学館は、資料の展示数を約300点から約550点に拡充。さらに展示物の入れ替えが簡単にでき、企画展にも柔軟に対応可能。子ども向けに言葉遊びを楽しめるタッチパネルも用意。メルヘン館は、参加・体験型の展示の充実化を図る。「シンデレラ」や「ジャックと豆の木」など童話の世界を疑似体験できる遊具を設置。大型モニターにアニメーションを映す「わくわくスタジオ」は、来館者が選んだキャラクターや場面によってストーリーが変化する参加型展示などを導入 鹿児島市平川動物公園〔鹿児島県鹿児島市〕2011.01・2011.03 2011年1月、来園者用の「足湯」をオープン。桜島や錦江湾をのぞむアフリカ園前に整備。園内地下1,500mを掘削して、湧き出た温泉を使用。2011年3月、「世界のクマゾーン」「野生のイヌ・ネコゾーン（トラ）」「インドの森ゾーン」「食堂オープンテラス」がリニューアルオープン。世界のクマゾーンと野生のイヌ・ネコゾーンは、一面ガラス張りの展示方法を採用し、より間近で動物たちを観察できる。インドの森ゾーンには、芝生広場や足湯を整備。食堂オープンテラスでは、アフリカ園や桜島などの景色を見ながら休憩や食事ができるほか、授乳室も新たに設置 鹿児島市立西郷南洲顕彰館〔鹿児島県鹿児島市〕2010.04 1978年の開館以来初となる本館の本格改修を実施。西郷隆盛の逸話を紹介するパネルの製作や、映像化した資料をモニターで分かりやすく流すなど展示方法を改善したほか、ミニ企画コーナーを新設。2階展示室へのエレベーターも設置 屋久杉自然館〔鹿児島県屋久島町〕2011.02 新コーナー「屋久島小さな玉手箱」がオープン。環境省展示コーナーを屋久島ライブラリーコーナーとして改修。屋久島に関するあらゆる分野の書籍が閲覧できるようになったほか、ライブラリーの蔵書検索や屋久島関連のサイトにアクセスできるインターネット環境を提供。また、ゲーム機のコントローラーで操作する「やくしま空中散歩」は、屋久島の衛星画像を使って、空から見る屋久島を紹介 沖縄こども未来ゾーン（沖縄こどもの国）〔沖縄県沖縄市〕2010.04 ワンダーミュージアムに新展示「サウンドフレックス」を設置。新展示は師井聡子氏の制作。同ミュージアムでは初めて音を使った展示を採用。色とりどりの蛇口をひねると音とカラフルな絵が現れる仕掛け ※ワンダーミュージアムは、リニューアル工事のため閉館中（再オープンは2014年4月13日） 環境省やんばる野生生物保護センター「ウフギー自然館」〔沖縄県国頭村〕2010.04 展示の全面改修を終えてリニューアルオープン。新しい展示では、野生生物の情報だけでなく、自然を活用してきたやんばるの人々の暮らしや文化も紹介。開館から10年が経過したことを機に、2009年末から展示の改修を推進
--	--

開設博物館、リニューアル博物館に関するデータの集計・分析では、各館の開設、リニューアル当時のデータに基づいて集計を行いました。2009・2010年度の開設博物館情報、リニューアル博物館情報について、調査もれ、記載間違いなどがある場合は、ご教示いただければ幸いです。（石川・福留）



ミュージアム・データ

No.78

ミュージアム・データ

2014年2月3日発行

発行：(株) 丹青研究所

〒110-0005 東京都台東区上野 5-2-2

http://www.museum.or.jp/tanseiken/

企画・編集：文化空間情報部 ☎03-3836-7598

©Tansei INSTITUTE